



毎月1回1日発行 1963年1月1日 新聞通信調査会報 として発刊

発行所 公益財団法人 新聞通信調査会 電話 03(3593)1081 http://www.chosakai.gr.jp/

ラ

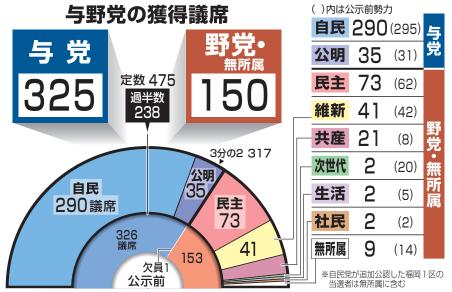
る

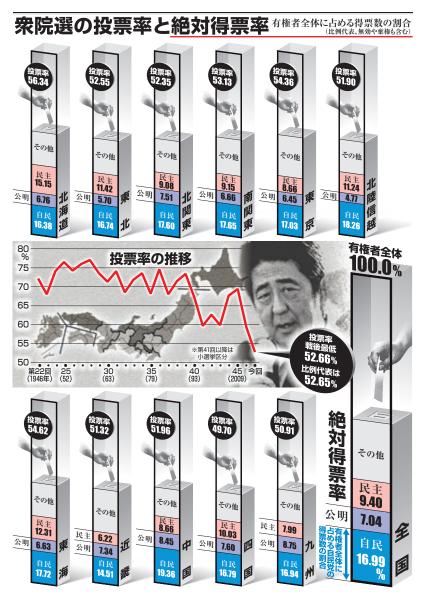
総

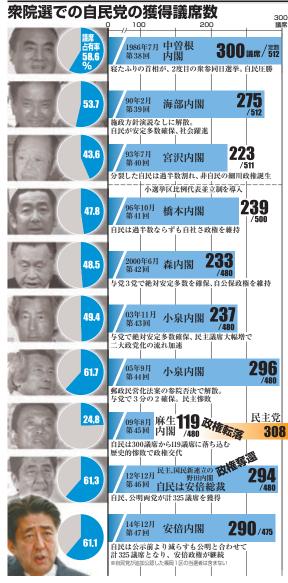
選

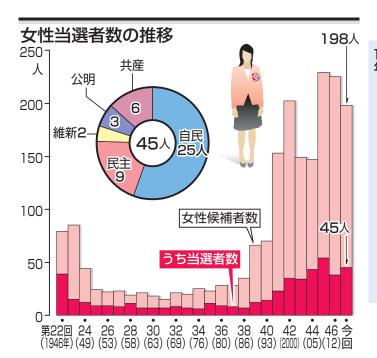
結

果









想定される今後の政治日程 1月9日 補正予算案閣議決定 14日 15年度予算案閣議決定 17日 民主党大会 26日 通常国会召集 2月中旬 補正予算成立 3月8日 自民党大会 下旬~ 15年度予算成立 4月上旬 統一地方選 12、26日 下旬~ 安全保障関連法案提出 5月 8月15日 戦後70年の安倍首相談話 9月 自民党総裁選

通信社が選んだ

平成26年 (2014年) 10大ニュー

◎時事 通信社

国内

②衆院選で与党圧勝 ①解釈改憲で集団的 自衛権容認

③消費税率10%への引き上げ延期 ④御嶽山が噴火、 57人死亡6人不明

⑤広島で土砂災害、 住宅流され74人死亡

⑥朝日新聞が記事取り消し、社長が引責辞任 ⑦日本人3人にノーベル物理学賞

⑨7年ぶりの円安・株高 ⑧STAP細胞論文に捏造や改ざん

⑩テニスの錦織 全米準優勝

海外

③エボラ出血熱感染拡大、死者6000人

2015.1.1

⑦英スコットランド住民投票で独立否決

②「イスラム国」が勢力拡大、有志連合空爆

④韓国旅客船事故で304人死亡・不明

⑤米、 キューバが国交正常化へ

⑥米中間選挙で共和が過半数奪還

①ウクライナ危機

10 10

◎共同通信社

(国内)

②消費税4月から8%、 ①集団的自衛権の行使容認を閣議決定 10%はGDPマイナスで

③御嶽山噴火で戦後最悪の被害、 延期 広島市で大規模

土砂災害

④衆院選で自公3分の2維持、 足 第3次安倍内閣発

⑤青色発光ダイオードで3氏がノーベル物理学賞

⑥STAP細胞作製と発表も検証実験で確認でき ず

⑦朝日新聞が慰安婦、 長辞任 原発の記事で取り消し、 社

⑧日銀が追加金融緩和、 株価上昇、 円安が加速

⑩沖縄県普天間の辺野古移設で国調査、 ⑨テニス錦織が四大大会全米で準優勝、 反対の知 世界5位

⑨パキスタンで学校襲撃、 ⑧ノーベル平和賞にマララさん (2)白人警官不起訴、 ①香港民主派デモ隊、 米各地で暴動 幹線道路を占拠 140人超死亡

事が当選

〈次点〉ソチ五輪で男子フィギュア羽生が金メダル

国際

①イスラム過激派が 「イスラム国」 樹立、 米国 が

④韓国で旅客船セウォル号沈没、 ③ロシアがクリミア編入宣言、 ②西アフリカでエボラ出血熱猛威、 9人不明 日米欧などが制裁 295人が死亡 死者6千人超

⑤米中間選挙で民主党惨敗、 国防長官辞任 パキスタンで軍

⑥マララさんにノーベル平和賞、

⑦香港で民主派学生ら大規模デモ、 強制排除で大

量逮捕者

⑧ウクライナでマレーシア航空機撃墜、 298人

⑨米FRBが量的金融緩和を終了、 死亡 株価は史上最

⑩英国北部スコットランドで住民投票、 高値更新 独立は否

米国とキュー バが国交正常化交渉開始へ 中韓は

いつまで歴史問題に

拘

アジアの平和とメディア

納得できる歴史を共有し教育を――田中(優子氏厚みある和解を社会レベルで――M・モチヅキ氏

本誌編集部

くい状態が続いている。このような状態を打破 りわけ2012年来、 た。 ディアの役割」と題したシンポジウムを開催し 公益財 東アジアに真の平和と友好をもたらす道を探 は昨年12月2日、 日中、日韓の関係は領土問題や歴史認識でと 団法人新聞通 ギクシャクし、先の読みに 東京で「アジアの平和とメ 信調 査会 (長谷川 和明 理 事

かれた。
が果たすべき役割を考える目的で開るとともに、それに向けてメディア

稲田大学客員教授が務め、

約180

コーディネー

ターは春名幹男・

早

人が出席した。

国 進~市民社会とメディアの役割」と ーンの一人だったジョージ トン大学のマイク・モチヅキ教授が 東アジアにおける歴史的和解の ードに使ってきた現実や、 米クリントン政権 韓国 基調講演した。 の指導者が歴史問題を外交 の対日政策ブレ 同教授は • 日本側 ワシン 中 促

> Ļ スで、 と指摘。 だと強調した。 あることに触れた上で、「和解は継続的なプロ 社会レベルの 未来志向にならないの 1回の謝罪や補償で終わるものではない」 政 府レベルの「薄く、 「厚みのある深い和解」 か、 浅い和解」を超え といういら立ちが が必要 セ

8年)-韓共同宣言 その好例として①過去の た鳩山由紀夫首相による る日中共同声明 力をうたった福田康夫首 力・友好の海」とする努 相と金大中大統領との 995年)②小渕恵三首 に「深い反省」を表明し ーシップが不可欠とし、 た村山富市首相談話(1 侵略行為や植民地支配 東シナ海を平和 胡錦濤国家主席によ を挙げた。 (98 年) (3) $\widehat{\begin{array}{c} 2 \\ 0 \\ 0 \end{array}}$ 協 É

と題して文化、ものの考え方の視点から話 る」と呼び掛けていることを紹介した。 と」であり、それを「東アジアの中で共有 けが幸せになるため他人を見捨てたりしないこ ついて書いた博士論文の中で「義理とは、 ながら詳述。教え子の韓国人留学生が「義理」に する価値観として「義理」「経世済民 強く語っていくことが大変重要だ」と強調した。 は専門分野の「江戸時代から見た日本の 循環」という概念について、 (各国が) 歴史を共有し、それを教育の中で辛抱 田中氏は江戸時代にさかのぼり、 続いて基調講演した法政大学総長の田 スライドを多用し アジアが共有 (経済)」 価値観 中優子氏 自分だ でき Ļ

そして東アジアの

和解達成には政治的なリーダ

け、頻繁な学生交流や互いに納得できる歴史を共現代を「第4次グローバリゼーション」と位置付羽鮮王国との国交回復だったと指摘した。そして下航海時代」の秀吉の時代に窮地に陥り、それが」と問い掛け、世界的な銀産出国だった日本がか」と問い掛け、世界的な銀産出国だった日本がか」と問い掛け、世界的な銀産出国だった日本がか」と問い掛け、世界的な銀産出国だった日本がか」と問い掛け、世界的な銀産出国だった日本が



マイク・モチヅキ氏

との重要性を呼び掛けた。 有すること、 持続 可能性を共通の目 標に据えるこ

企業 者の主な発言は次の通り 治外交学科教授 編集長の鈴木美勝氏が参加し、 ブル氏、 ク・タイムズ東京支局特派員のジョナサン・ソ 続いてパネリストとして文正仁・ (中国)研究院執行院長の陳言氏、 時事通信社解説委員で専門誌「外交」 (韓国)、ジャーナリストで日本 討議した。 延世大学 ニュ 参加 日日 政

それを利用している。 になっている。中国が台頭 ズムを止めには入らなければならないのに、 リズムが起こった。 文正仁氏=現在は米国と中国の覇権争 政治はこのようなナショナリ メディアはセンセーショナ Ĺ 積極的なナショナ 13 0 逆に 時代

と言った。マスメディアには、 かりした報道をしてほしい。 ャン・ジャック・ルソーはかつて 止めに入らなければいけない。 ルに走ってはいけないし、 真実にはたくさんの顔がある」 争いを しっ

加藤達也前ソウル支局長を朴槿恵(韓国の検察当局が産経新聞の 基本は守らねばならない。 だったと思う。 訴したことについて) 発達した国だ。 大統領に対する名誉毀損で在宅起 報道の自由と 韓国は民主主義 起訴は誤り

陳言氏 = ここ30年、 番助けてくれたの 中 玉 [の経 は日

感情的にならないで、

でき

(日中韓の)

メディアは

ジョナサン・ソーブル

氏

は中国人の私にも分かりやすいが、 < だが、それが収穫の段階になったのに、 ていくのも極めて難しい。 団の中での共通認識と違う態度で外部の人と接し 済をこんなに低く評価する日本は非常に理解しに 基調講演で田中先生が話していた「義理」 一面では、集 中 玉 0) 経

る。 南アジアとか、そういう西への外交シフトを感じ 今までは東への開放政策だったが、 ってきた。東よりも西の方、 のシルクロード」というような言葉がよく出る。 大きな変化が出てきた。「海のシルクロード、 習近平政権になってから、 すなわち中東とか東 中国の周辺国外交に ほぼ限界にな 陸

、小笠原諸島沖での赤サンゴの密漁につ 11 <u>T</u>

ぎるし、 なぜか百隻以上の船 いる。 ているのか分からな 今回のもタイミングは良過 ミングで行ったのか、 和友好条約締結の直前に、 非常に変な事件だと思って もよく分からない 外交部を大変困らせた。 (尖閣諸島) 何のために、 1978年、 だれが後ろで束 に押し掛け が、 あのタイ 日中平 が釣魚 中国 今で

田中優子氏

目韓、 時代になった。情報がひとたびネットに乗ると拡 だったが、今は一人一人が発信するツールを持つ 散し、拡大し、 命が起こり、インターネット時代に入ったこと のグローバリゼーション」と述べていた。 立的に伝えようともしている。 なければならないと強く希望している。 鈴木美勝氏=基調講演で田中先生が今は 従来は情報の送り手が専門的なメディ ここにネット社会の難しさがある。 ギャップがますます広が アだけ 情報革 って

第





に重要なことだと考えている。 ディアはアジアでは第三者と見られているし、 るだけ冷静に物事を報じるべきだ。この 特にトップレベルで日韓関係をどうに 一般的に欧 米国は日中より 点 米の が非 かし は中 メ

下をテー

マとし

て、 分析

その背景を探

って

いくことと

て

また、

月号で指摘され その差を横

た新 変

聞

0) に示

信

景色を水色として強調してい

低くなっ

た

割

合の変動

幅

0

7

は、

そこで今回

0)

では、

この

新聞

0)

信

頭感の

低

内で上下に並べ

を配

Ļ

昨 頼

第6

回調

査と昨年の

第7

図

表1では、

縦方向に回答者の購読紙

0)

夕

イ

0

新聞

0

信

感に関 年の

する回答分布を購読紙

タイ ·回調

プ 杳

0

動

幅

呼ん 新聞信 頼感の低下

第 7 口 メデ イアに関する全国 世 論 調査」

菅 原

京大学先端科学技術研 究 セン ター -客員研 究員 琢

物である。 した「誤報 などが広く流通するようになっ る印象もあ 結果的にその報道が間違うということは付き 報 を 素 近 早 0) 年はネットを介し、 Ż 類は 編 集 日常茶飯事のようになってき Ü 伝 達 する たことから、 7 取材対象者の ス メデ イ そう ア 吉 で 7 従 11

情

てい

1

4年は従軍慰安婦に関

する

証

言と、

故吉

が 号の記事で示されたように、 は、 10 査 報 n \mathbb{H} は、 昌ま 2郎お 0 が続いていたころに行われたものである。 道 に関する記事を取り消し、 報 が注 2 % 低 恐らくこ このうち従軍慰安婦報道に関する議論の 東京電力福島第1原発所長 ζ を選択する 、なっ 目された。 と 4 0) た 影響だろうと考えられる。 6兆州増え、 と答えた割 回 ここで分析を行う第7回 「答者が大幅に増えて またその理 新聞に関する信頼 撤回した朝日新 合が5・6 0 調 書、 由として それぞ % r V から 12 の 聞 る 感 月 余 調 0 0

全国 紙以外にも広 が :る新聞 の 信 頼感の

低

下

て傾 れば、 突出するはずである。 0 ロック紙などの大まかなタイプ別のデー 確 されると考えられる。 0) 聞に対する信頼低下がこの誤 た朝日新聞に批判が集中してい い影響が: デー かめることはできない。 「向を確認することとしたい。 たものだが、 『軍慰安婦に関する偽 朝 タは完備されていない 強 H いなら、 新聞購読者で特に信頼感の 昨 全 年 国紙購 しかし、 の件では検証記事を 証 ここでは、 言の ため、 読者で信頼 報に由来する た。 回答者の 報道は各紙 朝日新 今回 全国 低 -タを用 はこれ ため、 感低 購 聞 下 **語**購読者 掲載 読 · が 報 紙、 0 が 下 で 紙 行 あ 新 を 名

購読紙種別新聞信頼感の変化の分布とその変動 図表 1

「あなたは、この1年間で次のメディアへの信頼感が変化しましたか」 高くなった 低くなった 無回答 該当者 変わらない 数 割合 変動幅 割合 変動幅 割合 割合 変動幅 第6回 1487 全国紙 5.2% 86.6% 6.3% 2.0% +0.4pt -0.2pt -5.9pt +5.6pt (朝日、毎日、読売、産経、日経) 第7回 1375 5.0% 80.7% 11.9% 2.4% 90.0% 第6回 401 4.7% 3.7% 1.5% ブロック3紙 -2.7pt -0.1pt -0.9pt +3.8pt (北海道、中日、西日本) 第7回 347 4.6% 87.3% 7.5% 0.6% 2.9% 2.2% 第6回 911 5.9% 89.0% +0.2pt 県紙·地方紙 -2.8pt -1.9pt +4.5pt 第7回 894 4.0% 86.2% 7.4% 2.3% 第6回 129 5.4% 88.4% 4.7% 1.6% スポーツ紙または夕刊紙 +3.4pt -7.5pt +2.7pt +1 4pt 80.9% 第7回 136 8.8% 7.4% 2.9% 第6回 128 10.9% 79.7% 6.3% 3.1% -0.9pt その他の新聞 -3.0pt -4.3pt +8.2pt 第7回 90 6.7% 76.7% 14.4% 2.2% 572 1.4% 8.2% 第6回 88.5% 1.9% 月ぎめでとっている新聞は無い -0.5pt -5.2pt +3.8pt +1.9pt 657 0.9% 83.3% 12.0% 3.8% 第7回

※「あなたは、この1年間で次のメディアへの信頼感が変化しましたか。」の「新聞」における回答分布を、購読紙の種類ご とに示している。各種の上段が第6回(2013年)調査での数字、下段が第7回(2014年)調査での数字、「変動幅」は両者 の差を示している。

割合は、 6 は、 がが増 県紙 政 が 他 0 他 意する必 党や 加 分 0 表 0 全国 かる。 タイプに比較して突出 している一 か 新 5 聞 方 紙 は、 要が 紙 で6・3% 信頼感が 寸 購読者で で 体の 方で、 あるが、 は4・5紫増 玉 機 紙 関 は、 へから 11 ブロック 低くなっ 紙 お 8 け が 該当者が したも 多 加して る 2 ンポ トイ 9 11 、紙では た 信 と思 頼 0) % 0) 少 と答えた では 感 増 41 と 5 な る。 3 加とな わ 0) 5.7 ない n 低 恐 る 8

判 経新聞 0) さくして 聞に限らず、 3 H 新聞 低下 いと言 報 ていたこと 一慰安婦に関する偽証 ではないこと 全国 道 対象となっていた。 を非 .紙 も含め、 は も調べ上 えるが、 0) たが、 決して朝日新 難することに終始 変 が 94 動 げら 明確となっ 多 年まで同 がうかがえる。 幅 ネット かれ 今 は、 れ、 回 少 言を取り ブ 0) こうした姿勢は なかれ他紙も誤 上 証 聞 調 \Box 一では当 た。 だけ、 言を取り 査 ツ にお ŋ 各紙 今回 Ĺ 紙 一然の 全国 等に比 ける新聞 自 げ 上げ たの 紙 0) 0) 『紙だけ 紙 件 ように各紙 0) ば朝 報に でも、 扱 面 7 較 部で では して大 11 信 11 関 た産 頼 は 0 H 批 朝 新 従 小 問 感

そし 1 て今回 0 役 次に 割がかなり大きかっ 0) 新聞 示しておきた 信頼 感 巡低下に たと考えられる。 関 して は、 0

ネ

新 聞 の 誤 報 を 拡 散 する インター ネッ 1

聞 信 頼 感 低 下 割 合 0 増 加 幅 は、 30 代 40 代

【全体】

30代

10代・20代

後者とした。

は 7 0 年代より K 大き • 9 変動幅が若 図 40 代では 長2の 干大きいことが 全体 を見ると、 分かる。 お ŋ 30 代 他 で

ち、 答傾 ネッ る。 ŋ 1 層 しかし、 週 ス閲読 向 先月号で示され ネット **(**ネ が ī 利 大きく異なっ ツ 用 回 (積極層) でのニュ 1 以上ネットニュ 頻 利 n 度 用 を6 は 消 年 とそれ 極 たように、] 齢 段 スの 7 層 が 階 いるの 影 で 以 ースを読む 閲 で 聞 響してい は、 Ť .読 11 であ 調査では が ある て 深く関係 新 聞信 11 るとい . る。 層 11 ネットニ は 頼 (以下、 その に読まな して 感 うよ 0 口 4

0

消

ユ

Vi

40代 5.6% 13.7% +8.2pt +4.9pt 50代 10.3% 15.2% 60代 11.8% 20.0% +8.2pt +<u>9.0pt</u> 70代以上 9.2% 18.2% 7.6% 14.6% +6.9pt 計 【ネット利用消極層】 第6回 第7回 変動幅 0.0% 10代•20代 4.3% -4.3pt 1.8% +0.3pt 30代 2.1% 40代 2.5% 3 3% +0.9pt 50代 4.5% 5.8% +1.3pt 60代 4.5% 4.8% +0.4pt 70代以上 2.3% 4.0% +1.8pt

3.3%

4.3%

第6回 第7回

9.6%

15.0%

7.0%

6.3%

変動幅

+2.6pt

+8.7pt

+0.9pt

年代・ネット利用と新聞信頼感低下割合の変動 図表 2

変動幅

+2.1pt

+7.9pt

【ネット利用積極層】

10代 20代

計

30代

40代 4.9% 11.6% +6.7pt 50代 7.8% 12.0% +4.2pt 60代 6.6% 10.0% +3.4pt 70代以上 3.0% 6.3% +3.3pt 5.6% 10.2% +4.6pt ※「ネット利用積極層」と「ネット利用 消極層」は、「あなたは、パソコンや 携帯電話を利用してインターネットの ニュースをどの程度、見ています か」という質問において、「毎日」

「週に4~5日」「週に2~3日」「週に1

日くらい」と回答した人々を前者、「そ

れ以下」「見ない」と回答した人々を

第6回 第7回

6.7%

5.7%

8.8%

13.7%

かる。 これが大きく拡大しているの 昇している一 では「低くなった」と報告した割合 上と下 層 低くな 極層 9 図 長2の لح 第 シポイの \mathcal{O} は3・3%と開きがあっ ネ 6 合計 回 Ŀ ッ 右 方、 調調 昇幅 の欄を見ると、 側 1 査の数字でも、 利 0 合と 下 であまり増えてい 上 用 \dot{o} 変化 下 消 【ネッ. 0) 極 表 幅を 層 は、 であ 【ネット 1 積極層 示して 13 たが、 利 分 ネ る。 崩 け、 ツ な 消 が は7 利 W 1 極 6 る。 用 ことが 層 信 利 7 積 頼 9 用 回 まず 6 極 で ンポ トイ 感 積 で % 層 分 は 上 が

という割合が大きく増えて った高齢者でも、 えていることが分かる。 (度が週1 次に 10 代 【ネット利用積極 20代と50代を除き、 回 以上であ 新聞 この信頼感 ħ ネッ ば、 層 いるの ١ を 60 変動 が 代 で 车 であ 代別 Þ 0 ニュ 低 70 幅 代以 くな は 見て] 8 上と · ス閲読 ンポトイ つ を超 Z

代を除けば、 ずれ 方、 デー の年代でも+2坪以下の 同様に . Э 0 年代間 少ない ネット 0 第7 差異も小さい 利用消極 一回では 変動幅となって 層 31 人 を見 10 ると、 代 20 13

ということを よる ネットニュ 明 な ネッ に関 確 ば、 つ な差 た これ 示す。 する は] 利用と強 がなく 割合の - ス閲読! ①ネッ 5 Ó 0 30 、なるの 変化 代、 割 世 頻 代では } 度で分けてみると 合が大き が、 では 直接的に関 40 は、 代で変 口 朝 ネ 答者 新 É 聞 新聞等 ため 動 1 0 Oでニ 幅 係 年 信 で が 大きく ユ 頼 年 あ 7 齢 0) いる 誤 1 で 感 齢 報 ス は が

を

情

1

る割合が大きく増えてい

そし で、 触が信頼 用 考えられ 自 るということは、 層 係 頼 情 元という が逆 然である。 感 報によく でも ネッ が てこのうち、 ネ 低 方 ッ 感低 経路 る。 トを 向 下して 1 、接す 低くなっ の 二 利 0 2 積 下 用 場 0 11 る 0 0) 極 積 ネ 利用 る ② 要因となっていると考えるの 合、 ように誤報情報接 1 0 0 極 た 解釈が ツ 0) で、 層 卜 方が恐らく正し 新 図 表2の 割 始 聞 経 ネ 0) 合が ひとまず 8 由 0 ッ み での た 信 顕 上 頼 利 著に上)誤報情! ネッ 一昇すると思わ 感 用 が低 触→ネット غ 可 積 いの 1 能 W 極 う因 昇 利用 報 である。 下したの 層 して では 果関 消 は 0) 接 n 利 が 13 極 信

では、 も拡大し続けている。 でニュースを読む人は増えてお から情報を得る時代へと変化してきて た時代から、 先月号の分析で示されたように、 もは 読者だけに情報を伝えてい や紙 低面は作 ネット れ を介してさまざまなメ 購読紙から ないと言 b, ってよいだろう。 主に情 ると イ シ 中 報を得 夕 いう感覚 W 高 ると言 ĺ 年 デ 層 ネ イ

ディ アに親 しんでい る人ほど新 聞に幻滅

まな

層

は 2

•

5 ンポ トイ

0

ラ

ス

に

とどま

つ

7

3

ンポ トイ

0)

プラスだが、

「必ず

読

む

層では7

X

際は 強 0) 報 ネ 欲 逆 め そ . ツ 不信を表明 h で たように で e V 1 ると 知識 あ 11 積 な る。 極 i, 欲 11 利 して よう に富 本来 感じられる う 用 デー 層 は新 んで な人 が るの 夕 Ì 聞 々 は、 ŋ 11 が、 るような人 かも である。 新 相 もともと新 聞 新 性 信 聞に対 n 0) 頼 良 な 感 11 々 11 0) して疑 開に慣 はず が 低下を報 だが Ó, 新 13 聞 実 n い地 玉 る。 ブ

方、 際情

11

ことに、

勢

でも見ら

れる。 社会、

0)

傾

向は、

元関

係 興

記 味

事 深

やスポー

ツ

芸能 低

関

係

記事を読まな と報告

人は、

新聞

0

信頼感が

合くなっ

のであ とその む 感が く読 と、 割 向は第7 ま 均 た 聞 0 13 た が、 閲 0) 合 な ょ す 9 义 人は、 信頼 割合は 信頼 割合が低 読 表3 む ŋ 41 が る 変動 低 層 政 る。 頻 て、 高 増 記 くな 度別 ほど信頼感低 治関係記事をよ 口 感 感 人 61 加 事 第 でも変わら が 0 が 例 幅 10 10 は L を 0 えば政治 13 6 を 0 項 7 「低くな 2 低くな た 示したも 新 4 目 聞 回 方、 必 「でも W % 聞 購 Oる。 ず ع 0) 0 割 信 記 読 読 読 平 傾 つ % 0 新 合 頼 事

新聞閲読記事と新聞信頼感低下割合 図表 3

「あなたが新聞を読む際に、よく読む記事はどれですか」

| | 政治 | | | 経済 | | 社会 | | 国際情勢 | | | 地元 | | | | |
|-------|---------|-------|---------|-------|-------|--------|------|-------|----------|-------|-------|--------|-------|-------|---------|
| | 第6回 | 第7回 | 変動幅 | 第6回 | 第7回 | 変動幅 | 第6回 | 第7回 | 変動幅 | 第6回 | 第7回 | 変動幅 | 第6回 | 第7回 | 変動幅 |
| 必ず読む | 10.4% | 17.6% | +7.3pt | 10.7% | 16.2% | +5.5pt | 5.9% | 13.2% | +7.3pt | 10.9% | 18.1% | +7.2pt | 3.7% | 8.3% | +4.6pt |
| よく読む | 5.0% | 11.8% | +6.8pt | 5.2% | 11.8% | +6.6pt | 6.2% | 9.8% | +3.6pt | 6.6% | 13.8% | +7.2pt | 3.8% | 9.1% | +5.3pt |
| たまに読む | 3.8% | 7.6% | +3.8pt | 3.8% | 8.3% | +4.5pt | 3.2% | 8.0% | +4.7pt | 4.0% | 7.9% | +4.0pt | 8.2% | 12.5% | +4.3pt |
| 読まない | 2.0% | 4.5% | +2.5pt | 3.3% | 6.8% | +3.5pt | 2.6% | 8.7% | +6.0pt | 2.2% | 4.7% | +2.6pt | 8.8% | 23.1% | +14.3pt |
| | スポーツ•芸能 | | 文化 | | 生活•健康 | | 社説 | | テレビ・ラジオ欄 | | | | | | |
| | 第6回 | 第7回 | 変動幅 | 第6回 | 第7回 | 変動幅 | 第6回 | 第7回 | 変動幅 | 第6回 | 第7回 | 変動幅 | 第6回 | 第7回 | 変動幅 |
| 必ず読む | 3.2% | 7.1% | +3.9pt | 7.4% | 12.4% | +5.0pt | 4.9% | 8.5% | +3.7pt | 7.4% | 13.9% | +6.5pt | 3.5% | 8.0% | +4.4pt |
| よく読む | 4.7% | 8.7% | +4.1pt | 5.0% | 10.0% | +5.0pt | 4.6% | 8.6% | +4.1pt | 5.4% | 10.2% | +4.8pt | 5.1% | 10.0% | +4.9pt |
| たまに読む | 6.0% | 12.3% | +6.3pt | 4.5% | 9.6% | +5.1pt | 5.0% | 10.7% | +5.7pt | 4.8% | 9.6% | +4.7pt | 5.8% | 11.8% | +6.0pt |
| 読まない | 7.5% | 17.5% | +10.0pt | 6.2% | 12.0% | +5.9pt | 8.8% | 15.5% | +6.7pt | 4.6% | 9.6% | +5.0pt | 13.7% | 18.5% | +4.8pt |

※表中の第6回と第7回の数字は、「政治に関する記事」「経済に関する記事」など10項目の記事について、それぞれ「必ず読む」「よ く読む」「たまに読む」「読まない」と答えた回答者について、新聞信頼感の質問(図表1参照)で「低くなった」と回答した割合を示す。 また「変動幅」は、第6回と第7回の差を示している。

インターネットニュース閲読記事と新聞信頼感低下割合

| | 「あなたは、インターネットのニュースを見る時に、とのような内容の記事をよく読みますか(Oはいくつでも)」 | | | | | | | | |
|-----|--|--------------------|-------------------|--------------------|-------------------|--|--|--|--|
| | 政治 | 経済 | 社会 | 国際情勢 | 地元 | | | | |
| | 第6回 第7回 変動幅 | 第6回 第7回 変動幅 | 第6回 第7回 変動幅 | 第6回 第7回 変動幅 | 第6回 第7回 変動幅 | | | | |
| 選択 | 13.2% 23.2% +10.0pt | 11.9% 19.9% +8.0pt | 8.7% 15.6% +6.9pt | 14.8% 22.5% +7.7pt | 7.6% 13.2% +5.7pt | | | | |
| 非選択 | 3.7% 8.3% +4.5pt | 4.4% 9.9% +5.5pt | 5.4% 10.9% +5.6pt | 4.2% 9.7% +5.5pt | 7.1% 13.8% +6.7pt | | | | |
| 非該当 | 3.2% 3.9% +0.7pt | 3.2% 3.9% +0.7pt | 3.2% 3.9% +0.7pt | 3.2% 3.9% +0.7pt | 3.2% 3.9% +0.7pt | | | | |
| | スポーツ•芸能 | 文化 | 生活•健康 | ニュース解説 | その他 | | | | |
| | 第6回 第7回 変動幅 | 第6回 第7回 変動幅 | 第6回 第7回 変動幅 | 第6回 第7回 変動幅 | 第6回 第7回 変動幅 | | | | |
| 選択 | 5.7% 12.5% +6.8pt | 9.3% 17.6% +8.3pt | 7.4% 12.7% +5.4pt | 10.4% 19.6% +9.2pt | 8.7% 8.9% +0.2pt | | | | |
| 非選択 | 11.1% 16.4% +5.4pt | 6.6% 12.6% +5.9pt | 7.1% 14.3% +7.1pt | 6.8% 12.7% +6.0pt | 7.2% 13.8% +6.6pt | | | | |
| 非該当 | 3.2% 3.9% +0.7pt | 3.2% 3.9% +0.7pt | 3.2% 3.9% +0.7pt | 3.2% 3.9% +0.7pt | 3.2% 3.9% +0.7pt | | | | |

※表中の第6回と第7回の数字は、「政治に関する記事」「経済に関する記事」など10項目の記事について、それをよく読むとして選 択した回答者、選択しなかった回答者、ネットでニュースを読まない非該当者について、新聞信頼感の質問(図表1参照)で「低くなっ た」と回答した割合を示す。また「変動幅」は、第6回と第7回の差を示している。

道 を中 信頼 う 感が 心に、 た傾 低下 積極的 向 したと感じてい は に読 聞 んでい で 政 治 るということを る人 ゃ 社 会に 々 ほ ど、 関 す 新 る 示 聞

ショ

ッ

クを受け

たと

(V

うこと

こでも

あ

知識

欲

0)

高

41

人

Þ

ほ

新

聞

0)

失態に

通信社認知数と新聞信頼感低下割合 図表 5

34.9% 35% 新 30% 聞 第7回調査 σ 信 25% 頼 21.6% 感 20% 19.7% 低 な 15% 11.9% つ 11.5% **1**0.8% た_{10%} 7.4% 6.8% 6.3% 第6回調査 割 3.8% 合 5% α 5.3% --4.3% 3.6% 3.3% 3.0% 0% Ω 3 7以上 1 2 4 5 6 通信社認知数

※縦軸は新聞の信頼感が「低くなった」割合(図表1参照)。横軸は 「次の中で、あなたが見たり聞いたりしたことがある通信社を挙げてく ださい。」という質問において選択された通信社の数を示す。選択肢 は共同通信社、時事通信社、ロイター通信、ブルームバーグ、AP通 信、AFP通信、イタル・タス通信、新華社の8つと、具体的な名称を要 求する「その他」の9つである。なお通信社認知数が8、9の回答者は、 それぞれ100人以下の少数であったため、7と合算した。

数として、

縦

た

割

合を散 軸に新

である。

横

軸を各回

答者が知

Ó

が

図

表5で

場 す。 記 記 なった」 は 事に比 **浴合も、** 回 新 事 文化、 には 聞 Ď 政治に関する記事をネットで読むような人 信 傾向でも見られる。 という 読 ベ 大きくこれ 頼感の低下を報告する割合が 、ると弱 んで ニュー は、 いな 割合が増加してい いもの ス解説などの記事を読 イ が増えている。 い場合に比べ ター Ő, 図 ネ 経済、 表4に ツ 1 てや ニュ 社 政 示されるよう 会、 は 治に関する 大きく、 1 スで読 ŋ んでいる 玉 低 際情 第 々

り、

回調

た

社

を知っている人ほど

低

<

な

0

回

多 第 7

数

0

通

第 6

回

口

لح

0) され 同 45 時 治 0) ることが 関 係 傾 向 0) は、 記 ユ 1 直 事 接的 新聞 ス報道をよく読む、 に 0) な原因と考えられる。 報 政 に関 治 画 以する報道 ネッ 情報 トニ 道がよく ユ 欲 1

0

に 5

0

7

11

る。

さら

原発を

再

稼

働

ž

せ

る

き

減

ある。 って る。 考えることができる。 布 聞 もに右上がりとなっており、 欲 0) 信 0 存在感の大きさに 信 n れ 社 いる通信社の 頼感が 線を見ると、 あ 認 折 をよ 即数は、 るい れ線でつないだもの 0) 図は、 り端的に示す はその 低くなっ 回答者

人の

中で

0)

メデ 欲、

1

0)

情報

知

相関する数

値と

に関 低下したと感じていたことが分かる。 下を報告する でも表れる。 るような層ほど、 関 心があっ と回 日常的 9 様のことは、 査では第6回に比べて折れ線が急になってお % 「まっ 7 答 は、 か低 る に多くの する傾向 たく関 例えば憲法改正問題に対して 非 方、 層 で は 17 下 昨年度の時点で新聞 常 を 個 心がな 報告 報道に接 别 が示されている。 まっ 関 の事柄、 心 たく 11 ない。 0 が % あ 問題に 層 関 が新聞信頼 る ||心がな 慣れ は 原 2 発再 層 親し 関 そして第7 0 で でする関 () 稼 11 信 は 働問 感の んで % 頼 んとな 非 層 感が 14 常常 低 題 は 心

> 0 \mathcal{O} 6

が

同

ではな ない <u>る</u>。 認される 確な人々ほど、 くなった」 と と答えた人々は いう 41 以 と報告する一 という人々 人 上 Þ 新聞 0) が 数字 21 は 0) が 2% 6 方で、 いず 不信を表明 12 0 7 れも % であ 再 <u>%</u> どち 稼 第 そ ŋ, 働 す 5 れぞ さ る 口 とも 意見 せ 傾 調 査によ 向 n る b が 言 べ 明 確 え 低 き

頼 感 「低下」 の 影 響 は 限 定 的

信

となが を及ぼ、 は当然、 来の役割 持続すると答えた人の割合を逆 派を初めて上回る」というもの 割合 闽 一の調 イトル 次に、 強 図 来の役割が減少すると回答した人々 新聞信頼 ·表 11 . の が多く、 第 7 すの 5 査の注目点であったわけである。 であ 新聞 信頼 は、「『将来の は、 に 同 回 かを考えておきた 時に 感低 る。 感の ともにAの 0 信頼感の 新 いての 聞 В 低下を 新 信頼 の 下 -割合 聞 側、 回答分布を示し 低下とも関係し 新 0) 低 側、 が聞の役 役割 1の増 感じた人 下者の 持続 加が 61 すなわち 0 であ 派 を転し 割 低 中で、 下 々 先月号 تلخ たこと 0) は、 減 Ł 0 0 感じる 割 てい よう が 少 7 合は 新 派 当 減 増 0 11 「然のこ る。 な影 少 聞 が、 0) 加 新 記 が 少な 傾 派 0) 事 聞 持 事 第 今 向 将 実 続 0

る。

図

表

で

は

新

聞

信頼

感

0

変

化

0

方向が

ととに

る

これ

を示

して 7

11

る。

これ

も当当

|然ではあるが

聞

的 る

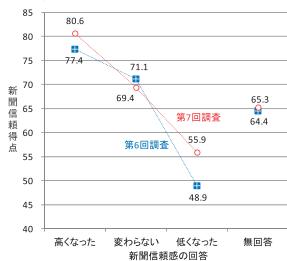
新聞信頼感低下者における新聞の将来展望分布 図表 6

将来の新聞についてどう思いますか。あなたの考えがAとBのどちらに近い

A インターネットなどの普及により新聞の役割が少なくなってくる

| | - ロッよで通り、利用が執道に来たり役割は入さい | | | | | | | |
|-----|--------------------------|-------|-------|-------|----------------------|-------|------|--|
| | 新聞信頼感 低下人数 | Aに近い | | | どちらかと いえばBに 近い | Bに近い | 無回答 | |
| 第6回 | 186 | 36.0% | 24.2% | 8.1% | 19.9% | 10.2% | 1.6% | |
| 第7回 | 334 | 31.4% | 25.7% | 11.1% | 22.8% | 7.8% | 1.2% | |

新聞信頼感の変化と新聞信頼得点 図表 7



※縦軸は「現在のあなたの日常生活において、次のメディアの情報を どの程度信頼していますか。点数でお答えください。全面的に信頼し ている場合は100点、全く信頼していない場合は 0点とし、普通の場 合を50点としてお答えください。「そのメディアは利用しない」あるいは 「分からない」場合でも、大体の感じでお答えください」という質問に おける、新聞に関する点数の平均値を示す。詳しくは2013年1月号の 拙稿を参照されたい。横軸は新聞信頼感の変化を示す(図表1参 照)。

だろう

稿と なっ る。 次に、 蕳 V た も減 的 同 7 な見 確 様 と答えた人々 認 P で して は 方の人々 は 0 b 7 点 おきたい。 低 いることか n 0) 下 を 回 が多か ・が注目 [答者 は、 新 b 聞 55, ったのだと考えら なお、 された新聞 新聞 含 信 め 今 頼 0 た平 得 13 年 1 将 口 来に関 「増えた 点 均 0 と表 値 月号の 信頼度に を して れる。 現 用 低 す 拙 11

残

も低くなってい 頼 0 得点は、 信 頼 感が 第 6 低 る 回 ことが分か 第 7 0 回ともに した回 他 答者 0) 選択 \bar{O} 新聞 肢 より 信

る。 た人は、 ŋ, 点を比 その L 7 昨 年、 上 11 一で第6 るわ 均 較 的に 新聞 昨 すると、 年に H であ は 口 比 0) |と第7 較す 後者 普 る 信 通 頼 感が 0 n 口 ば で 方 0 はまだ新 が7点 新 低 あ くな る 50 聞 信 聞 点を超えて 0 も高くなっ 頼 感低 たと回答 0 信頼 下 層 を 0

お

な信頼が H 0) たデ 感 1 の変化と、 活 年 ĺ にお 間 夕 で は、 13 と、 7 長期 لح 信頼 頼 概感変化 的 61 う用 得 点 頼 語 \mathcal{O} 0 感の 質 質 が 簡 示す、 間 違 K K に含まれ 一含まれ 41 短 を 期 反

> な なっても、 11 したもの 0) であ る。 基本 と考えら 的 な信 ń る。 頼 感 は大きく 短 期 的 卞 は が 钔 つ 象 7 が 悪

では 下 頼 入わな して b の継続を保障 新聞 っとも、 本 11 41 人が一 的 る。 0) 役割 こう 同 定数 頼 じようなことが するも 減 感も急速に失わ L したデ 少 11 たと 0) 派は増 で] いうだけ は 夕 は な 連 将 え、 0 れることに 続 来 であ 即 す 信 \mathcal{O} 頼得 座に n 新 る。 ば、 聞 点 信 なる も低 全体 長 \mathcal{O} は 頼 期 を 信 41 <

上げ、 とは 報道 益 ことは、 るだろう。 きた際の ことは当然のこととして、 であ が自 た問 考えて ジを与え得る。 従 で 0 無関係にネッ 不祥事は、 0 て、 題に敏 問題 る。 信頼 経営にも関 社 業界全体 O購 ネッ 誤報 読 を考える上での くべきだろう。 利 前半で分析したように、 を 感感で 醸 益となるよう 者 これを大きく報道 成 トを交えて 0 0 奪 あるということは、 情報収集に熱心な人ほど、 トを介して新聞業界全体 ような 0 わ 反応、 11 つ 維 合 てくる問 持 不 13 対応 -祥事 新聞 X ポ な事 0 Ĺ デ 7 イ 心も今後 いうな、 態 業界に起きて イ Ó 題 心でも くことを、 ア 発 す 1 生を抑 0 誤 は る は 他社 不祥 新 他 な 0) あ 報 ネ 論点とな 聞 社 ツ 0 よう 事 制 1 0) 0 0 業界 こう 真 41 が す タ 意 0 不 売 る 利 起 図 な 存

※ そ ジ参照。 0 他 0 調 (http://www.chosakai.gr.jp/ 査 結果 は 新聞 通 信調 査 会の ホ 4

^°

望

政権側も既存メディアの復権に腐心 厄機感背景に習近平率いる小組が提言

度、 ば、 を推し進めるための党のトップレベル組織。いわ とする政権側も現状を座視できなくなっている。 が などに関する方針や計画を打ち出してきた。 経済、社会、文化、環境など幅広い分野での改革 メディア 第3次全体会議(3中全会)で設置された政治、 するための指導意見」(以下 化させるための指導小組」(以下「小組」)が、 家主席自らが率いる中共中央「全面的に改革を深 伝統メディアと新興メディアの融合発展を推進 この「小組」は、13年11月の党18期中央委員会 2014年8月、 揺らぎつつある新聞をはじめとする中国の伝統 メディア環境の激変で、 立法、 司法体制改革、 習氏流「体制改革」 経済と環境、文化体制改革、 -メディアを思想宣伝、 習近平中国共産党総書記・国 知的財産権、 の推進役だ。これまで 世論形成の主導的地 「意見」)を決定した。 企業責任者報酬 権力維持の柱 戸籍制 位

的意思表明。 .性と目標を以下のように設定した。 「意見」は、 党指導部として、 メディア関係では初の具体 メディア改革の方

ディアの融合発展を推進することは、 道媒体資源を整合し、 伝統メディアと新興 党中央が

例えば、

こんな発言だ。

性、 であり、 伝え、人民大衆の情報欲求をより満足させる」 ス能力を増強し、もって党と政府の声をよりよく れわれの主流メディアに先進のコミュニケーショ な措置である。メディアの融合発展を通じて、わ ある。また、それは媒体構造の深刻な変化に対応 改革を全面的に深化させる上での重要なステップ ンテクノロジーを導入し、 影響力および世論誘導力を高めるための重要 主流メディアのコミュニケーション力、信頼 宣伝文化領域における革新の重要任務で 読者の新聞離れに何とか対応しよう 情報の生産性とサービ

と、 進出を急いでいる。また、 の形も生まれつつあり、政権側と改革の方向性に 引(Eコマース)の展開など全く新しい「融合」 アプリの「微信」など、新しいメディア領域への ついて認識のずれはない。 新聞側もミニブログの「微博」やメッセージ 経営分野でも電子商取

背景には政権側の強い危機感がある。 ことを、 アとの融合を進めて、世論への影響力を確保する ただ、「意見」は、既存メディアと新興メディ 初めて国家レベルの目標と位置付けた。

退に強い危機感を抱いていて、 るのだろうが、習近平氏自身、 長も参加しているから、 理する中央宣伝部の劉奇葆部長や雒樹剛常務副部 見」につながった節がある。 この「小組」には直接的に新聞などを指導・ 彼らの意見が反映してい 既存メディアの衰 今回の「指導意 管

> くの人々、とりわけ若者は、 千万人、ミニブログ微博の利用者は3億人だ。 ない」(13年8月、 ならない。既存メディアを非主流化させてはなら て、世論の戦場において主導権を掌握しなければ の事実を直視しなければならない。 し、見ない。大部分の情報はネットから得る。こ モバイル端末によるネットユーザーはうち4 「わが国には6億近いネットユー 全国宣伝思想工作会議) 主流媒体を読まない ザー 費用をかけ が (V て、 多

う。 めて、 歩を速めるだろうし、融合のためには、 「意見」を受けて今後、 政府からのさまざまな支援が拡大するだろ 各社はメディア融合の 地方も含

もとより、

0余りの新聞を維持するつもりが政権にあるのか。 い環境に適応できるか。換言すると、 か。また、全ての新聞、メディアグループが新し ただ、それで危機を真に脱することができる 「意見」にはこんなくだりがある。 現在190

メディア集団を建設する」 ョン力、影響力、 メディアをつくり、強大な実力、コミュニケーシ 多様で先進的で競争力ある、一団の 信頼性を持った、 幾つかの新型 新型 主

はリストラクチャリングする、というの メディア集団。メディア融合ができない新聞など 意見」 つまり、改革できるのは一団の新聞、 の真意と言ったら、 うがち過ぎか。 幾つか がこの \mathcal{O}

「中国報業」 正博=日本新聞協会博物館事業部付部長) 誌2014年9月上号

地下に潜む危機

今世紀中に大規模噴火5、

南海トラフ、 3 11 短時間で大津波到達も 割れ残しの房総沖も心配

澤だ

新 郎

共同通信社編集委員兼論説委員

なった。今春までは東北で記者の原稿を見るデス 尻島の地震・津波(93年7月)も担当することに 変わったようなところがある。 クとして震災報道に関わってきた。 を含む計43人が亡くなり、 雲仙普賢岳の噴火があった。メディア関係者16 私が長崎支局に赴任していた1991 あの噴火で記者人生が 北海道南西部の奥 年6月、

に新しいが、地震・火山でお伝えすることは多 い。とりあえず、分かりやすい火山から入りたい。 最近の災害では広島の土石流と御嶽山噴火が耳

不幸な条件重なり戦後火山史上最悪に

当日 犠牲者数 だったが、それを超える戦後火山災害史上最悪の を出した。それまで最悪の犠牲者数は雲仙の43人 火が起こり、不幸な条件が重なって多くの犠牲者 .頂で食べようという登山客の多い時間帯に突 御嶽山は標高3000点級 大勢の人が紅葉狩りを楽しんでいた。お昼を はまさに紅葉真っ盛り、 (死者・行方不明者計63人)になった。 の山頂で小規模な噴 土曜日で天気も良

れた地下水が上昇してきて噴き出した。 水蒸気爆発が起きた。 マグマによって熱せら

だろうと思う。 たら、大きい噴石が山頂や登山道にごろごろ転が った。真冬の3月で、登山客は誰もいなくて事な っていた。タイミングが悪ければ大惨事になった きを得た。数カ月後、火山学者について行ってみ 大震災の翌年に、北海道駒ケ岳で水蒸気爆発があ あり得ることで、18年前の1996年、 「寝耳に水」の水蒸気爆発は、実は活火山 阪神淡路 なら

ベルを上げるべきかどうか気象庁は検討したが、 えていることが地震計で把握されていた。 は9月10日、11日に有感ではない火山性地震が増 突然の水蒸気爆発も多いが、今回の御嶽山の場合 に、 上げようかという3日目に急に地震が減ったため 前兆を生かせなかったのか、とよく言わ 出すタイミングを逸してしまったらしい。 警戒レ れる。

有史以来3回噴火した御嶽

御嶽山は79年、 口 の噴火がある。 91 年、 前回の07年は地震だけでな 2007年と、 有史以 来

3

なぜレベル2にしなかったのか議論になっている た。レベルは1から5まであり、 ていた。今回はそのデータが得られなかったの 人山規制で、 気象庁は噴火警戒レベル1のままにしておい 判断が難しいところだ。 山が膨らむような地殻変動のデータも得ら 登山中止を呼び掛けることになる。 1は平穏、 2 は

出た。登山ブームの今、 う人もいる。11月に開かれた火山学会でも議論が きかどうか――という意見も出ていた。 者などとも連携する④頂上にシェルターを造るべ 登山客への啓発をする③山岳ガイドや山小屋経営 る②登る山が活火山かどうか事前に調べるような 屋に情報が届いていれば、少し違っただろうと言 自治体の中で止まっていた。一番伝えるべき山 気象庁は自治体に情報を出していたが、 ①ヘルメットを持って登 それ 小

が水蒸気爆発で、マグマ噴火の方が危ない。 火、マグマに熱せられた地下水が上がってくる な山で、地層を調べていくと、 に噴いたので驚き、全国の火山を徹底的に洗い出動を終えた死火山という認識だった。それが79年以前は火山研究者にとって、御嶽山は完全に活 はマグマ噴火で、 かった。マグマ本体が上がってくるのがマグマ噴 4回以上、水蒸気爆発が11回以上あったことが分 す作業が始まった。いわば火山研究の原点のよう 火砕流 が発生し、 実はマグマ噴火が しかも活

火山の定義を広げ、 当時、活火山は60ぐらいといわれていたが、 洗い出しを進めた結果、

という表現は教科書に載らなくなった。 活火山の7%を占めている。 いう言葉は使わないことになった。 かでもう活動が終わったと思っていても、 北方領土を含めて日本国内に110あ を始めることがあると分かって、 かつての「死火山 「死火山」と ŋ, 長らく静 再び活 世

20 世紀は火山学で異常な静穏期

そのぶり返しで、 沖合にある海底火山の手石海丘ができた噴火と83年三宅島、86年伊豆大島、89年の静岡県伊東市 国内で二つしかない。 全て小規模噴火だ。 桜島大正噴火と29年の北海道駒ケ岳噴火だけだ。 43人亡くなったが、 20 火山学的に大規模と言える噴火は20世紀には 霧島の新燃品、 世紀は異常な静穏期と言われてい 21世紀は5、 大規模噴火が異常に少ない。 浅間山などいろいろあるが、 いずれも戦前だが、 火山学的には小規模噴火 6回あってもおか る。 雲仙 14 年の

富士山 年以 あ 局にまで至らない。 力 八山も静 たまる。 沈黙を保っている るほどエネルギー している夫婦は破 ちょこちょこケン 来 が いつ 3 0 0 かであれば 1 7 0 7 噴 火す 年以

は

言っている。

しくないと火山学者

るか、 気になるところだ。

東日本大震災と富士山噴火の 因果 関 係

をやっている。火山学者も一番緊張して見守った ばならないようだ。 噴火という事態には至らなかった。 たので、 の群発地震を記録した。 のが富士山 者は気にしている。869年の貞観地震は東日本 ば当然、火山も何か起きるのではない からまだ3年、 大震災に匹敵する大きな地震だったが、 る。 り日に、 3年前の東日本大震災であれだけ地 秋田県と山形県にまたがる鳥海山が噴火して 気象庁の火山課は東日本大震災が起きたそ ついにきたかと緊張に包まれたが、 貞観地震後に何があったか調べ出す作業 で、 その影響は続いていると見なけれ 震災の4日後の3月15日、 震源地は富士山直下だっ しかし、 かと火山学 一殻を揺らせ その2年 震度6 あれ 幸 14

富士山だけでなく、 あの 9月27日、噴火した御嶽山から上がる 大震災後、 ち着 日光白 などで地震が急増 になってやっと落 収まってはい 田駒ケ岳、 している。 八甲田 焼岳、 伊豆大島、 いてきた。 新島、 根、 八甲 乗鞍岳 だい 草津白 出は今年 蔵王、

> ら2に上げられている。 った九州の霧島も地震が増えており、 は気になるところだ。3年前、 震が増えてきて、 面に剥落があり、 いまだにくすぶっていて、 かなり緊張した。 山が膨らむ傾向も見えている この 新燃岳の噴 草津白 間 レベ お でいるの にいるの がるの 湖 ル1か

央部のムラピ火山など、 だと考えられている。04年の年末にスマトラ沖 ははらはらしながら見守っているのが現状だ。 観測史上最大規模の地震だった。 本大震災はマグニチュード を受けたと思われる火山の噴火が相次 のタラン火山、さらに06年と10年にはジャワ島 る多数の犠牲者が出た。翌年にはスマトラ島西部 のバンダ・アチェ、スリランカなどで大津 震があり、 も、その49日前の宝永東海地震・南海地震の影響 計的にも表れていて、1707年の富士山 カニズムはよく分からないが、 ところ静かだが、これからどうなるか、 大きな地震の後、なぜか火山の タイ南部のプーケット、 明らかにあの地震の影響 $\widehat{\mathbf{M}}$ 連動することは統 国内の火山 9という日 噴火があ インド いだ。 -ネシア 上波によ 0) る。 は今 本の 東 噴 地 H 火

闽

秋

気象庁に専門家ゼロ、 大学も30 数 入だけ

箱根

神

呼び掛けたりする義務は気象庁が主務機関として る国内体制は危機にある。 充実するものなのか? 『測を強化する」と言っているが、 御嶽山噴火を受けて安倍晋三首相らが「火山 ここで火山の研究について少し、ご紹 いま火山研究を担って 警報を出したり注意を お金を出 介したい せば

る تخ

蔵



噴煙 (共同)

申

でドクターを取って気象庁に たちだが、火山専門家の採用枠はないので、 義的な責任を負っているが、 「治体も同様だ。 専門家は少ない。 国家公務員試験に受かった人 いる人はまれだし、 実は気象庁に火

る。そのプレッシャーを負って仕事をしてきたの 級崩壊に近い」と自嘲気味に言う学者もいる。 際は40人を割って30人に近い。さらに減って「学 わっている人は、文科省の数字では47人だが、 たちだ。ところが、大学で火山の観測や研究に携 の見立てをつくるのに非常にプレッシャーがかか !行形で進んでいくことだ。 か、御嶽山のようにこのまま落ち着くのか、そ 年と長く続いたり、 日本の火山をウオッチしてきた大学の研究者 災害の難しいところは一過性でなく、 しかもそれが危ない方に転 雲仙のように3年、 現在 実

省から国立大学への運営交付金予算は減る傾向に た。 中学、高校でも地学を教えられる先生は減ってき は敬遠される。地学を志す人がそもそも少ない。 では「物理」「化学」「生物」が重視され、「地学 深い問題は大学入学センター試験だ。今の枠組み しくなっている。 大きな火山噴火がないことも一因だが、 クを重ねて 火山研究を目指す人が少なくなったのは、最近 10年前の国立大学法人化とともに、 教員のポストも減り、 地道にデータで傾向を追い、 く火山学で業績が評価されること 効率的な研究を求める今の時代 国立大学の先生は忙 フィールドワ 根っこの 文部科学

イタリアは戦略的に150 人に増 強

問題」は深刻で、大学院を諦めて修士の段階で就 採用状況になっている。 われている。 ろな事情が相まって、 職してしまう人が増えている。このようないろい い。博士課程を修了した若手研究者の「ポスドク クトで、その期間だけ雇用されるという形態が多 学院に進学するしかない。大学院も今は不安定な 国家公務員試験合格者でないと採らない 山学を学んだというだけではコンサルタントか大 学を研究しても、 今は火山研究の危機だとい 働き口 例えば5年間のプロジェ [がな ので、 気象庁も

増やして、いま150人ぐらいいる。 化している。特にイタリアは戦略的にその人数を 違って国の機関として監視観測と調査研究を一元 アメリカもハワイなどに火山が多いので、 イタリア、インドネシア、 フィリピン、 そして 日本と

者がいるかどうかさえ怪しい状況だということを 年前、衆議院の委員会でこの問題が取り上げら ままでは、仮に富士山の噴火があった時に、 と聞いている。消費者庁、 望む声が10年来出ているが、 でも「地震火山庁」や「国立の監視研究機関」を ったにないこととして後回しにされている。 ツ庁もできるようだが、 日本の火山研究者からは就職口を確保する意味 し上げておきたい。 決議までしたが、その後は、 地震や火山の噴火は、 観光庁ができ、 政府の腰は重い。3 なしのつぶてだ スポー 研究 め \bar{o}

れ残し」 の房総側に地震誘 発の 恐れ

割

町長など、辛うじて数人生き残ったが、 役場があったが、跡形もない。 た40人以上が亡くなった。防災対策庁舎の らは犠牲になった。3階の屋上でつかまってい の女性職員が防災無線で避難を呼び掛け続け、 写真だ。真ん中にあるのが防災対策庁舎で、 で続いていると思ってください」と言っている。 には「阪神淡路大震災の際の神戸の状況が下関ま の漁村や集落が壊滅的被害を受けた。 破壊した。青森から千葉まで、 長さ500㌔㍍×幅200㌔㍍をたった3分間 を盛り上げた結果、巨大な津波が起きた。 はM9・0の大地震で海底を大きく揺らし、 気象庁の正式名称は 震災の3週間後、 次に地震について言えば、 **無線で避難を呼び掛け続け、自めるのが防災対策庁舎で、20代めるのが防災対策庁舎で、20代** 「東北地方太平洋沖地 11 400から500 年の東日本大震災 西日本の方 隣に

3階以上にいれば大丈夫だという津波専門家の

意 沖地震」が来るのではないかと心配されてい ンであったので、 6階以上でなければ駄目だったことになる。 の近くにあった5階建てビルの上まで水が 見で建てたのが、この庁舎だ。 70年代にあったので、そろそろだろう。 宮城県沖地震には30~40年周期説があっ 私は06年から仙台に赴任していたが、「宮 地震が来たかと思った。 30~40年周期の地震は確かに過去数回の 私も東京で揺れを感じて宮城県 しかし、 ところが今回 つまでも揺 て、 かし、 パ ター 前回

大変な問題を引き起こした。一部にあったが、それも破綻し、原発事故という島沖では、起きない」という仮説が地震研究者のるが、地下のプレートのメカニズムで、なぜか福れが収まらない。「宮城県沖では巨大な地震があ

南 破壊したが、その両端に「割れ残し」があるので はるかにしのぐものがあることを痛感させられ ば ないかということだ。 大きな津波を伴う地震があるのではないかと懸 火山にしても地震にしても、 いま心配されているのは、 「房総側」を誘発する可能性があって、規模 北は 「岩手・青森側」、 今回500キュメルを わ れわ れ の想像を



破壊された南三陸町の防災対策庁舎(筆者撮影)

の影響は大きい。 念されている。もし房総側で起これば、首都

卷

沖合だけでなく、内陸も刺激したのではないかからだけでなく、内陸も刺激したのではないかからで、これからそれが起きる可能性がないわけではで、これからそれが起きる可能性がないの目、長野県栄と心配されている。3月11日の次の日、長野県栄と心配されている。3月11日の次の日、長野県栄と心配されている。4月11日の次の日、長野県栄と心配されている。5月11日の次の日、長野県栄と心配さない。

最も心配な南海トラフ巨大地震

呼ばれる岩盤がうごめき合っているからだ。かといえば、日本列島周辺には四つのプレートとる。なぜ日本がこんなに地震や火山の噴火が多いる。なぜ日本がこんなに地震や火山の噴火が多い震だ。東北地方太平洋沖地震と同じようなメカニ

が乗っているプレートとは別のフィリピン海プレ 7 トにぶつかり、 本列島に近づいてきて、 ~5ホッ沈んでいく。 っている。フィリピン海プレートが陸側のプレー ートに乗っていた。 トもその沈み込みに付き合わされ、 伊豆半島は昔、 陸より海の方が重いので、 あるとき限界にきて地震を起こす。 押し合い、 はるか沖合にあって、 ト境界地震_ それが北に動き、どんどん日 沈み込む過程で、 ぶつかり、 せめぎ合いしている間 プレートが年間 の簡単な説明で、 今の地形にな 陸側のプレ 日本列島

では、周期は比較的規則正しく起きている。だ。プレートがぶつかり合いをやっているところ大震災はプレート型ではなく、直下型の内陸地震る。東日本大震災はまさにその一つだった。阪神内陸型よりもはるかにスケールが大きなものにな

文書を読むことでかなり分かる。 立書を読むことでかなり分かる。 文書を読むことでかなり分かる。 文書を読むことでかなり分かる。 文書を読むことでかなり分かる。 本では1498年の明応地震、江 でがある。もちろん地震計などない時代だが、古 でがある。もちろん地震計などない時代だが、古 でがある。もちろん地震計などない時代だが、古 とがある。もちろん地震計などない時代だが、古 とがある。もちろん地震計などない時代だが、古 とがある。もちろん地震計などない時代だが、古 とがある。もちろん地震計などない時代だが、古 とがある。もちろん地震計などない時代だが、古 とがある。もちろん地震計などない時代だが、古

この時は2年間を置いている。 り、2年後の46年に南海地震があった。 方がよいと思う。 大きな被害が出る恐れがある。 起きてしまうと、 いうパターンでくるか懸念されているが、 ーンと、ずれて起きるパターンがある。 では東海地震と南海地震が同時に起きているが、 しまうのだろうかという事態も、 一番最近では、 戦中の4年に東南海で地 静岡の駿河湾沖から大分県まで 日本はどうなって 一度に起きるパタ 想定しておい 宝永地震 次はどう 一度に が

ッキングな数字も出ている。 を伴う。高知県黒潮町では34点の津波というショ力を入れている。海が震源となれば、巨大な津波能性がある。特に沿岸の県は、その対策に非常に能性がある。特に沿岸の県は、その対策に非常にが起きているので、最短では20~30年後に来る可が起きているので、最短では20~30年後に来る可

さらに困ったことに、

南海トラフ地

震の

震源

を来襲すると想定されている。今回は地震が午後2時46分で、宮古に津波が到達したのが約20分後2時46分で、宮古に津波が到達したのが約20分後2時46分で、宮古に津波が到達したのが約20分後でったと記憶しているが、静岡県の御前崎とか高によう可能性がある。地震が発生してびっくりしている間もなく逃げ出さないと間に合わないという厳しい条件にあると考え、地元では避難訓練など、いろいろ工夫を重ねている。

るのではないかと心配する声もある。
で、東北地方太平洋沖地震に誘発される形で起きで、東北地方太平洋沖地震に誘発される形で起きているが、それ以後かなり時間がたっているのているが、それ以後かなり時間がたっているの まず房総沖震源の巨大地震は1 南海トラフも心配だが、東京もさまざまなリス

けど。 が、いつ、どのように起きるか分からないのが現が、いつ、どのように起きるか分からないしくないが、周期性が見いだしにくい。震源地も、荒川かが、周期性が見いだしにくい。研究は進んでいるメカニズムがよく分からない。研究は進んでいるメディアでよく言われる首都直下型地震だが、メディアでよく言われる首

富士山噴火の降灰、ゲリラ豪雨・

機器に与える影響は大きい。いても入ってくる。パソコンや繊細なさまざまなのと同じことが起きる。火山灰は窓を閉め切って乗れば、宝永のとき江戸の町が灰だらけになった乗れば、宝永のとき江戸の町が灰だらけになった 火山では富士山の噴火が一番心配されている。

いるので、細かいデータまで拾ってしまう。とないようだ。雨量計を昔よりきめ細かく置いて気象庁もいろいろ調べているようだが、断言はでラ豪雨は本当に温暖化によって増えているのか、低い土地の浸水が心配されている。しかし、ゲリ特に東京東部の川沿いのゼロメートル地帯など、温暖化によってゲリラ豪雨や巨大台風も増え、温暖化によってゲリラ豪雨や巨大台風も増え、

このように見てくると、

東京はリスクの多い

所

階では揺れがいつまでも続く長周期地震動がある。等るようにすることが重要だ。超高層ビルの上層寝室だけでもせめて耐震性を強化し、自分の身をという方も多かったが、1日の3分の1を過ごすることだった。朝5時46分に発生して寝室で圧死事業所および居宅の耐震診断をし、耐震性を高めきか考えてみた。阪神大震災の時の教訓は、まずだと改めて思うが、それを想定して何を備えるべ

備蓄は3日分用意しておけば、あとは行政が避難所に持ってきてくれるというのが昔の話だった。では避難所に入り切れないかもしれない。超高京では避難所に入り切れないかもしれない。超高層マンションが増えているが、その住人が小学校に避難するといっても容量オーバーになるだろうし、地元の自治会とのあつれきも心配される。マンションの管理組合で備蓄を考えているところもある。

災、道路が割れるなどはなかったが、あれは例外東京も震度5強で大変だった。建物の崩壊、火庸宅難民の問題も大きい。東日本大震災の時、

うし、携帯電話はもちろん通じない。 JRは止まっていたが、私鉄は夜から動き始 所ではその人たちを受け入れる態勢を今から考え まない。エレベーターもしばらくは動かないだろ ておいた方がよいと思う。 あふれて、救急車や消防車も動けなくなる。 の地震が起きた時の帰宅難民はあんなものでは済 何とか家にたどり着いた人は多かった。 的に条件が良かったと思った方がよ 帰宅難民が 首都 あ 0 事業 直 H

がよいかもしれない。その建物がもつようなら、しばらく屋内にいた方ほしい。慌てて屋外に飛び出すのは危ないので、好の落下物だ。落ちてくるガラスにも気を付けて外の落下物だ。落ちてくるガラスにも気を付けて

では火災対策が急務だ。かった。環7沿いや墨田区など、木造住宅密集地かった。環7沿いや墨田区など、木造住宅密集地こったし、関東大震災では本所周辺の被害が大き、火災も心配だ。阪神・淡路大震災でも火災が起

うになっているし、できるだけの た時は大阪、名古屋をどうバックアップするかと 大震災以降、「想定外」という言葉は いた備えがかなり進んでいる。 ックアップするか、報道機関ではそれを念頭に置 ンはしていかなければならない いう問題もある。考えるときりがないが、 東京で大被害が出た時、 大阪、 南海トラフが 名古屋でどうバ シミュ 使わな 東日] 11 シ あ ょ 本

ンすると、2年以上かかってもまだ建設中だとい宅が考えられたが、首都直下型でシミュレーショこれまで災害で家を無くした場合、まず仮設住

長野

山梨

静

岡

静岡

士山噴火の降灰の可能性

東京 東京●

埼玉 さいたま

30cm

10cm

降灰の厚み 2cm

50cm

前橋●

群馬

●甲府

栃木

●横浜

神奈川

茨城

様のものにし、 万円、 といわれていた。 なるのではないか。 う話があり、 700万円前後かかっている。 ってもらう。被災者かそうでない人かの区別は難 てば壊す。コスト的に考えれば、 「みなし仮設」を採用するしかないのではないか。 空室や一般の空き家などを利用して、そこに入 いが、コスト等を考えれば多分そういうことに R(都市再生機構)、県営住宅、 壊すのに100万円で、 恐らく東日本大震災で導入され 風呂も追いだき機能を付けると、 しかし、 仮設住宅は建てるのに30 東北の場合、 それを2~3年た 400万円かかる みなし仮設を増 雇用促進住宅 寒冷地仕 0

ま気象庁が発表する情報は細かくなって、 記録的短時間大雨警報、 土砂災害警報情 大

やす以外にない。

雨警報、 水戸◉ 千葉 ※「富士山八ザードマップ検討委員会」作成 (共同)

> るが、 員に断続的にメール、ファクスが入ってきて、 る面もある。広島の土石流災害の時も、 報など、 れが重要な情報か分からなかったという。 あまりにも情報が細か過ぎて情報が錯綜す 新語も出ている。一 一見い いようにも思え 自治体職 سل

第六感働 かせ自分の身を守 ħ

ている。 れわれメディアも自戒しなければならないと思 ィアの取材も自治体の手を煩わせる。この点はわ としてしまったようだ。 来るファクス、メールに紛れ込んで埋没し、 「1時間の最大雨量70~」という情 8 月20日 午前 1 時 49 分、 災害では報道機関、 広島気 象 報 台が が、 次々に 出 見落 メ したた デ

に、 石流災害時にも、 懸念も学会では議論されている。 行政に依存する姿勢を生んでしまわないかという っていた」と答えていた。 あまりにきめ細かい情報が出てくると、 「行政の指示がなかったから大丈夫だと思 お年寄りがテレビのインタビュ 伊豆大島での 情報 Ĺ B

50km

かせ、 など、そういう変化を敏感に感じ取る感性を大事 が急に暗くなった、 にすることも必要だと思う。 かい空気に混じってひんやりした風が吹いてきた に頼り過ぎるのではなく、 ている場合も多いので、 行政や気象台の情報が必ずしも正しいとは言え 情報収集する。 むしろ細かいローカルなところでは外し 遠くで雷鳴がとどろく、 携帯電話やさまざまな端末 やはり自分の第六感を働 原点に立ち返って、 生暖 空

> とは限らない。ある程度自分の身は自分で身を守 もゲリラ豪雨にしても、 情報を出してほしいが、 ることも考えるべきだろうと思っている。 気象庁や自治体には今後も空振りを恐れ いつも適切な情報が出 地震にしても火山にして な 11 る で



れた時、 もコストの安いエネルギー源として原発に れるとは思えない るを得ないと言っているが、 は東海道新幹線が走っている。 御前崎に中電浜岡原発があって、 私は中部電力本社の近くで生ま 堤防や原発の 冷却装置対策だけで耐えら 御前崎が津波に 安倍首相も経済界 数十二北に れ に頼らざ 育 9

るのか分からない状況で、 態になった。 却できたが、 いう気がしないでもない。 波だけでなく、どういう壊れ方で東海地震が たにないから」という政治的判断のようだか、 にあったので、ぎりぎり津波が来なくて無事に冷 東日本大震災の時、 東京電力の福島はご存じのような状 確かに御前崎は場所が悪い。 あの場所に置くの 宮城県女川原発は高 かと 起き 津 9

きる。 噴火をすると、 いるが、 とんど手続きは終わり、 分かると思うが、 再稼働一番手になる九州電力の まずい場所にあると言っている。 阿 !蘇のカルデラを思い浮かべていただけば 火山学者はあそこは国内でも最も危 中のものを吐き出 ぽこっとお釜のような地 年明け 再稼働とい 川内原発 すので空洞がで 山が巨大な われ 形 ほ な 7

でい。でい。一連の審査の中でもそういうリスクがあると科ーのの一連の審査の中でもそういうリスクがあると科ーの

のではないかと思っている。
虚でないと、またいつか手痛いしっぺ返しがくる
虚でないと、またいつか手痛いしっぺ返しがくる
ものの考え方はしないようにしている。自然に謙

度だったのか。 年と終戦直後の46年だが、この時の被害はどの程年と終戦直後の46年だが、この時の被害はどの程の、南海トラフで直近のものは戦中の1944

ではないかと心配されている。
の二つは規模が小さかったので、次が早く来るの体像が伝わったとは言えない。いずれにしてもあし、46年も戦後のドタバタの中で、南海地震の全し、44年の戦年の時は報道管制が引かれていた

A 1707年の宝永地震はだいぶ現代に近づきいだろうと予測されているということか。は比較的小規模だったから、次に来るとすれば大Q その前の三つは大きかったが、直近のもの

∇5年の慶長地震については評価が割れている。 ∇ているのでかなり記録もあるが、その前の16 A 1707年の宝永地震はだいぶ現代に近づ

同時に起きるパターンを想定している。 しくなってくるので、諸説入り乱れている。政府 を実は難しい。さかのぼるほど古文書の記録も怪 ないかという学者もいる。東はどこだったのではないかという学者もいる。東はどこだったのか、

予知の現状を教えてほしい。 やっていたが、今はそれもあまり聞かない。地震がどのくらいあると地震が起きるとか、いろいろの 以前は駿河湾に地震計を置くとか、ひずみ

直前に地殻変動があったというデータが得られて東南海地震が発生した際、水準測量をしていて、をれはなぜかといえば、戦時中の1944年に

いる。また同じパターンで起きるかもしれないいる。また同じパターンで起きるかもしれないということで、空振りも十分あると思った方ないということで、空振りも十分あると思った方ないということで、空振りも十分あると思ったが、予知できるという態勢では組んでいない。東が、予知できるという態勢では組んでいない。東が、予知できるという態勢では組んでいない。東が、予知できるという態勢では組んでいない。東がよい。

い。 の地震と、首都直下地震との違いを教えてほし の 1677年のM8以来ないという房総沖震

ている。上で、かなり広い範囲に影響するだろうといわれ上で、かなり広い範囲に影響するだろうといわれ本、南海トラフと同じだ。津波が怖い。震度6以本、房総沖はプレート境界型の地震で、東日

えている。
時間帯にもよるが、容易ならざる事態になると考大惨事の恐れがある。仮に震度7が起きた場合、はいえ、その上に都市があるので、神戸のようなは若干小さくなる。ただ、Mが比較的小さいと直下型地震はプレート境界地震よりも規模とし

関東大震災の周期説は今もあるのか。

Q

フよりは切迫していないのかもしれない。われている。前回が1923年だから、南海トラトの沈み込みで200年前後の周期で起きるといイ 関東地震については、相模トラフのプレー

加筆した) (本稿は11月19日に行った講演内容を要約、一部

既存メディアと非営利編集者の協働の道探る 既存メディアと非営利編集者の協働の道探る

PNがLMと新たなつながりを持ってジャーナリ ニュースの送り出し窓口戦略②新聞の自己変革戦 が ニュースを社会に提示する際にどのような可能性 接触行動 行する読者の活字離れと、 番の課題は、 たリポートをまとめ発表した(PRC、 関である「ピュー・リサーチ・センター」 非営利の米ニュース・ジャー ィアなどを中心とする電子メディア媒体への情報 ズム活動にまい進している姿が顕著に見られる点 在り方に注目し、ニュース取材・ C)が2年間にわたり既存メディアの「レガシ Р ートナーシップ〜新たな利益を求めて」と題し あるかを調査し、 ス取材・編集者」(=以下NPN) との協働 ・メディア」(=以下LM)と「非営利のニュ 盤沈 R けてきた。 Cの調査研究プロジェクトでは、 下が続く米ジャー へのシフトである。 への本格着手などを柱とした調査研究 激変するメディア環境下にあって進 カルニュース報道の変化と現状④デ 今回のまとめリポートでは、N このほど「ジャーナリズム・ 移動体・スマートメデ ナリズム界が抱える一 この問題について、 ナリズム調査研究機 編集組織の間で 12月4日)。 ①非営利 P R 0

読者に発信し、安定的に供給するチャンネルを確り始めた人たちは、独自のニュースをより多くのしている。他方、LMに解雇されてNPNに関わことで、これまで以上に報道量を増加させようとよって解雇したジャーナリストと改めて協働するが、幾つかの特徴とともに指摘されている。

保することを願っている。

米オンライン・ニュース協会のジム・ブラディとこで議論になるのが、ジャーナリズムに関わる」と指摘。ニュース取材・制作に関わる全てのる」と指摘。ニュース取材・制作に関わる全てのとのような恩恵をもたらすかについて、少なくとどのような恩恵をもたらすかについて、少なくとどのような恩恵をもたらすかについて、少なくとして、当時には、より幅広く、また掘り下げたニュース報道が可能になり、ニュースが人々にとって、当時には、よりによって、ジャーナリストたちは、皆では、というでは、は、は、というでは、いったというでは、

る。 で、 ニュースを供給してくれるNPN 浮かび上が る「ニュース制作組織」に対する理解だと思われ トや広告収入減の時期を抜けたLMは、 な協働事例を調査したところ、 の人に訴求できる力を備えることが期待される。 ース制作組織は、 以上のような前提で、 人によっても解釈が異なるが、一般的に、ニ より広い範囲に伝えることができ、より多く ってきた。 記事の内容や伝え方が多様 まず、 PRCが米国内の代表的 ①大規模な雇用カッ 六つのポイントが トナーを探 質 の高

となる。

起こし、 ぐる取り組みは二の次にされる可能性がある、 があり、LMとNPNとの間のデジタル協働をめ ら、親和性を欠いて時には競合関係が生じること 事接触者年齢層など属性の差異が存在することか 中心にするNPNとの間で、 関係の構築が、 ができない取材報道の助っ人としてNPNを位置 材費を多く必要とするため、 いが、これらの成功が社会で民主的な議論を巻き 報道支援は、質の高い調査報道を生む可能性が高 後に⑥基金や企業サポートによるNPNへの調 は例えば、デジタルのメディアコンテンツ展開を ャーナリズムの新トレンドとなる可能 かす④ジャー 資金サポートの枯渇は簡単に日常活動 付けている③非営利のNPNを支えるため している②LMは調査報道や特ダネ記事など、 さらに⑤現行の新聞購読者を中心に据えるLM また更なるサポートを呼び込むきっかけ ナリズム活動における想像の ローカルに閉じない 中心的なニュース記 独自で取り組むこと 玉 性がある。 の継続を脅)共同体 の民間 型ジ 取

ジャーナリズム基盤の安定化に資するに違いない。というでは、いまがに揺れる米NPNの力が社会に根付き、さらに信頼性を築き公的資金の投入を検討したこともあった。だが、ジンとしての役割の重要性に鑑み、一時は連邦がジンとしての役割の重要性に鑑み、一時は連邦が光がとしての役割の重要性に鑑み、一時は連邦がが、米ジャーナリズム業界が危機を感じさせる状況

(金山 勉=立命館大学教授

〈出席者・敬称略〉

Ш

上

湛永

元朝日新聞記者

中北

宏八

元朝日新聞記者・元大学教員

近藤

義昭

元毎日新聞記者

(2014年11月15日、

日本プレスセンターで)

北村

英雄

兀朝日新聞記者

(設営)

保田

龍夫

メディア展望」

編

集長

|||

口

翠子

元編集者

司 会

上野

征洋

大学教員

朝日新聞の再生へ向けて 問題とバッシングを考える

井 上 浅沼 加 畄 藤 春 恵子 邦俊 英範 隆 牛 元朝日新聞記者 元毎日新聞記者 元大学教員 弁護士 柴田 玉造 砂山 新堂 彬夫 睦子 鉄治 清 元朝日新聞記者 元新聞研究所 元朝日新聞記者 (科学部長) 研究生 通訳者

> この危機をどう乗り越えるべきか多角的に討議研究生としてジャーナリティスと 社長が、 とも言うべき報道の危機を迎えている。 について発信したい。 に当たり、 マスコミによる激しい朝日バッシングが続き、 わせたことの責任を取り、 かったこと、池上彰さんのコラム掲載を一時見合 「日本のジャーナリズム史の分水嶺」 (毎日新聞) この誤報問題に端を発し、 従軍慰安婦報道の記事取り消しで謝罪しな 原発事故の「吉田調書」くしくも昨日14日、朝日 1960年代に東京大学新聞研究所で 辞任すると発表した。 安倍晋三政権や一部 日新聞 関連記事の 0) この時期 木村 取 伊力

柴田鉄治氏をはじめ、朝日OB 野征洋氏にお願いしたい。 る。本日の司会を事業構想大学院大学副学長 出席者の中には、朝日 1日0日が6人含まれてで科学部長を務められ の上いれた

司 会 では、第一報告者の岡さんか ら

秦郁彦、 山田厚史両氏の論考から

新聞」 されている。 時増刊号(昨年10月3日号)は、 版物がヒラ積みされている。 木秀次氏など錚々たる論客による論文が多数再録 なタイトルが付けられ、 ら「選り抜きの論考」を選んだとうたい、 春秋社発行の雑誌に掲載された朝日関連の 岡 は日本に必要か』というセンセーショナル 書店にはさまざまな「朝日叩き」 右 の論客が 西尾幹二、 その中の週刊文春 左 とうたい、『「朝日朝日関連の記事か、90年以降に文藝 藤岡信勝、 0) 朝日 新聞 0) 臨 出

| 今日紹介するのよ、その中の現代史家・攻撃する手法を知りたく、通読してみた。

を式はち、盆でで、日本の成別でに是書なるにいる。 05年3月号掲載、「第二論文」と呼ぶ)である。 と、「朝日 vs NHK全面戦争の逆転劇」(「諸君」 と、「朝日 vs NHK全面戦争の逆転劇」(「諸君」

ちが大部分であるから、 鮮半島においては日本の官憲による慰安婦の強制 訴訟での原告 連行的調達はなかったと断定してよいと言う。そ たわけではなく、その他の19人の証言からも、朝 ンというプロの出身で、強制されて慰安婦になっ ではないと言う。 の売春を目的に私的な契約で雇用していた女性た の上で、慰安婦は民間の業者が「商行為」として い上げた「身の上話」を分析。 秦氏は第 一論文で、 (従軍慰安婦経験者)の訴状から拾 日本の裁判所に提起された 戦後補償の対象とすべき うち2人はキーセ

会階層的な分析を試みている。

会階層的な分析を試みている。

中国山西省の慰安婦については、その地域に駐中国山西省の慰安婦については、その地域に対するがあって、もしそこで民心に反するがある。当時、八路軍が周辺にいたところでのしている。当時、八路軍が周辺にいたところでのというわけだ。フィリピンの慰安婦については、その地域に駐中国山西省の慰安婦については、その地域に駐

政治的な立場とは無関係に、実証的な裏付けを伴実態調査が今後も必要だと提言しており、秦氏の型やレイプ型が混在する複雑な様相で、地域別のよる「性被害」は慰安所型を軸に、「自由恋愛」結論部分では、アジアの戦場における日本軍に

った説得力のある論文だと評価できる。

どういう介入があったかを述べた。 当時、(「女性法廷」を主催した)「バウネット」 当時、(「女性法廷」を主催した)「バウネット」 当時、(「女性法廷」を主催した)「バウネット」

バトルは朝日の完敗になるだろう」としている。 却したことのみを付記し結局、自分の言っている は触れず、 かわらず、秦氏は臨時増刊号で、この高裁判決に ト全面勝訴の逆転判決を言い渡している。にもか 会見と同内容の証言を全面的に採用し、バウネッ と断定した上で、「どうやらこの 者会見での発言は、うわさ、伝聞、 ことが正しいとしている。 デオ出演した秦氏は、 しかし、2年後に東京高裁は、長井CPの記者 NHKの上層部の要請で急きょ、この番 両論文の比較を前提として、 最高裁がバウネット側の請求を全部棄 右 的な政治的立場が見え隠れする。 第 一論文で「長井CPの記 実証的な手法は姿を消 この討論会で論じ (NHKとの) 臆測だらけ」 組にビ

かの問題である。価の誤りなのか。それは「誤報」をどう定義する側の誤りなのか。それは「誤報」をどう定義する判用語でいう「事実誤認」なのか、それとも、評の尺度について考えてみたい。まず「誤報」が裁

執筆した記事については、事実を正確に把握して ことが証明あったときは、その行為は云々」とあ示された事実がその重要部分において真実である と言ってはならないと読めるような気がする。 執筆したものである限り、 る。公共の利害に関する事実を公益を図る目的で 目的がもっぱら公益を図るものである場合に、摘 為が公共の利害に関する事実にかかり、 る。名誉毀損の成否について最高裁 事実を摘示しての名誉毀損にあっては、 司 会 次に、誤報が生じた場合の法的責任 次に川上さんの報告をお願いします。 その評価につい の判 0) かつその 問 その行 その行 て誤報 題 が

望」11月号へ山田厚史氏 が出て、それを読んでいる。また「メディア展 起こしてしまったのか、 という意味では論外だ。 こんなことが、ジャーナリズムの世界であるのか 載しなかったのは、全くのミステークだと思う。 スな見方をしており、私も同感だ。 記事も、じっくり読んだ。 会」(PRC)から5~にわたる長文の見解報道 前日には朝日新聞の第三者機関「報道と人権委員 川上 昨日、木村社長の辞任表明があり、その なぜ朝日がこんなことを 全く理解できな (朝日〇B) 山田氏はオーソドック 池上原稿を掲 が寄稿した

誤報だが捏造ではない「吉田調書」

木村社長の記者会見でメーンの話題は福島第1

られるさまざまな問題を整理するために、

る。大事な評価ではないか。 はど読んだが、どっちとも取れるかなと思っている。11月13日の毎日新聞社会面に、PRCの報告を受けて、服部孝章・立教大学教授が談話を出し、「これは捏造ではなくて、単なる誤報だ。社長が責任を取るような問題ではない」と言ってい長が責任を取るような問題ではないか。

明日バッシングをやっている勢力は「吉田調書 朝日バッシングをやっている勢力は「吉田調書 朝日バッシングをやっている勢力は「吉田調書 朝日バッシングをやっている勢力は「吉田調書 が、5月20日付の紙面で「所長命令に違反 原発 が、5月20日付の紙面で「所長命令に違反 原発 ら、指示に反して860人の所員がバスなどで第 ら、指示に反して860人の所員がバスなどで第 ら、指示に反して860人の所員がバスなどで第 はあるけれども捏造ではない。そこのところをど はあるけれども捏造ではない。そこのところをど はあるけれども捏造ではない。そこのところをど はあるけれども捏造ではない。そこのところをど

ど、こういう経過で記事が出たんだなと思った。が元記者としては一番関心の強いところ。なるほ情報源秘匿を優先 調書共有せず」とある。ここPRCの報告には「取材経過から記事掲載まで

整理部の変化と適切な「見出し」能力

聞いたりしている。これは大きなネタの場合、あは大阪(本社整理部)に見出しを提示して意見をぞということで政治部や科学医療部、さらに最後を重ねていたか知らないが、いよいよ19日に出すいたか知らないが、によいよ19日に出すに出すが出いたのが5月19日。5カ月間、どういう取材

なかったかもしれない。 いる。もし、こうした見出しであれば問題になら発退避』程度の表現でいいのではないかと言って言っている。大阪本社も「『所長指示通らず 原まりも『指示に反して』がよいのではないか」とり得ることだ。しかも、医療担当記者が「『違反』

ってしまったのではないか。出しを取っていた。今は、そういう場面がなくなは、整理部が付けた見出しに出稿部が異論を唱は、整理部が付けた見出しに出稿部が異論を唱どの機能を一緒にした編集センターができた。昔どの機能を一緒にした編集センターができた。昔

解要旨を見て、 も何をやっていたのかと思う。しかも、なぜ2人 の社も大なり小なりそうかもしれない。 在り方はここまで劣化しているのかと思った。 どすべきではないというご意見だと思うが、そう の関係とか技術的な問題も含めて、ミステークを 加させなかったのか。 のベテラン記者だけに検証させて、もっと複数参 書という大きなネタを若い記者が取ってきて、2 田論文もそういうスタンスだと思うが、PRC見 してや捏造ではない」という意見の人もいる。 いう見解はOBにも多い。「誤報でもないし、 しない手だてができなかったのかと残念に思う。 人のベテラン記者が検証したというが、5カ月間 今回、 柴田さんは多分、あれは誤報程度で取り消しな 政府が外部に出さないとしていた吉田 朝日の中のコミュニケーション 取材体制の問題、 整理部と ま Ш 他 0 調

柴田さんもメンバーだが、「朝日新聞東京社会

ある。 が、特に1面の見出しの取り方などは整理部と提 話を聞いたが、東京新聞には依然として整理部が 部〇B十日会」で9月17 あった時代のようなことをやっている。 稿部の間でかなりやりとりする。 点明示報道」で大賞を受賞した。 やり方を構築し、日本ジャーナリスト会議の「論 から話を聞いた。東京新聞が1面 出稿部を東京新聞では提稿部と言うそうだ Ħ 東京新聞 朝日の その整理部長に の構 成の 整理 新し 理 11

ういうことなんだよね」と言い、提稿部の部長同 た結果、「『戦地に国民』へ道」という見出しを16 とき、どういう見出しを取るか両者でやり ズムの原点だと思う。 るんです」と謙遜されていたが、 は東京のローカル紙だから、そういうことができ ないことかもしれない。その整理部 あの見出しになったという。これは今の朝日には か」となり、最終的には整理部の見解が通って、 士で論議し、「『戦地に国民』へ道」でいいです が、整理部長が「この解釈改憲は、 日付朝刊1面で取った。これは実は本文にはない 5月15日に安倍首相が解釈改憲検討を指 私はジャー 最終的にはそ 長は 「私ども とりし 示した ナリ

般市民は見ている。朝日が突然、「脱原発」の看が、まだ十数万人が避難している福島の事態を一き朝日新聞は終わると思う。慰安婦問題も大事だ「脱原発」が「容認」になったりしたら、そのとそれが吉田調書の報道などで、ぐらついたり、きちんとしているので私も周りも評価している。してきた。それ以前の淡白な編集方針に比べて、してきた。それ以前の淡白な編集方針に比べて、明日は3・11以降、「脱原発」を標榜し、報道朝日は3・11以降、「脱原発」を標榜し、報道

と思う。そのことだけはぐらつかずにやってほ 板を下ろしたら、 い。それがOBとして求めたいことだ。 それこそジャーナリズムの 死だ

整理部が廃止されたのはいつごろで、 ンターだけとやりとりしているということだが、 整理部がなくなり、 川上両報告についての質問 いま出稿部は編集セ その後、 を。 原

稿の流れはどうなっているのか。

集センター長がいて、 理部は記事の扱いを決め、見出しを付け、 通りだ。 クがいて、 中でやっている。整理部という名前はなくなった 面を実際に組むところまで全部、編集センターの 北村 組む指示をするところまでだったのが、今は紙 編集センターが整理部の役割をしている。編 整理部がなくなったのは2006年。 その下に編集者がいるというのは従 総合面、 硬面、軟面のデス 制作部 整 来

展

ア

われなくなったのはいつからか。 保田 見出しの取り方について論議があまり 行

長がいて、その編集長が際どい見出しなどについ んの言った通りで、東京の場合、当日の当番編集いろな組織改編をやった。編集センターは北村さ なっている。それは現場感覚とはちょっとずれて は7年間 合ってというパターンではない。 て最終責任を負い、その指示に従うという流れに 川上 現場の整理部デスクが出稿部デスクとやり 多分、秋山耿太郎社長時代だと思う。 (05~12年) 社長をやり、その間、いろ 彼

当番編集長は私が現役だった頃、 それまでは整理部総合面デスクに全面 既にで

> す形になった。 的 な権限を与えてい たのを、 当番編集長 が \Box を出

ことは昔から言われていた。 整理部の力が強くて。 出稿部と整理部との力関係がずいぶん違うという は整理部だったと思う。 中 北 編集センターと名前は変わっても、 ただ、 大阪の方が圧倒的に 東京と大阪とで、

き、 作るという大変な合理化が行われた。 会面も作っている。東京で名古屋と西 機能はなくなった。東京に統合編集センターがで 司会 井上 名古屋と西部の本社では昨秋までに整理 地方版はもとより名古屋と西部用の1面、社 井上さん、名古屋もそうです 部 0 が新聞も

然読まないというのは信じられない。 それとも、それが普通で、そのことを強く批判し を)読んでいない。それは個人的なものなのか。 クチャーを受けただけ。次長も上の人も(調書 ンが記事を書いた。次長は2人が書いたもののレ たりしないのか。記事のもとの資料を上の人が全 川口 吉田調書で聞きたいのは、2人りで司会 それは中央集権化じゃないの(笑)。 吉田調書で聞きたいのは、2人のベテラ

うかと、 会部、何するものぞみたいになっている。忙しいた一種のエリート部になって、既存の政治部、社 べきだ。こんな状態で記事が書かれてい とは思うが、政府が出さないと言っていた調書を 書ではあるが、読むべきだと思う。 取ってきたわけだから、 いうのが5、6年前にできて、 川上 そこは非常に不思議で、 私もびっくりした。 みんなで丁寧に読み込む 優秀な記者を集め 確かに膨 特別報道部と いのだろ 大な調

うな形で、

長は間もなく退任すると宣言した。

と。その責任を取って編集担当役員を解任し、

目の、従軍慰安婦の問題を謝るついでにというよ

原発の吉田調書記事を取り消したこ

事を抱えて走り回ってという、 と読み込まないこと自体、 ると思う。しかし、こんな大事な特ダネをきちん ない。昔から僕らは現場労働者で、 較的少ない人数の記者でワッとやらなければい 7、8割は東京に情報が集まってくる。 かに 東京が一番忙しい。 、そういう背景はあいてくる。それを比らってくる。それを比らってくる。

程度なら誤報にもならなかったはずだ」という 大阪から(別の) 浅沼 Р RC見解を受けた川上さんの報 見出しの提案があった。 あの 告 で

ということを含めてか。 と思う。その一つは、従軍慰安婦報道の検証をし ない失態だ。それ以上に大失態だと思うのは三つ 目は池上論文をボツにしたこと。これも信じられ たことは良いが、検証の出し方を失敗した。二つ ンゴール、 見出しについては多分あまり問題なかったと。 けないが、大幅に変えなくてもいいと思う。 が、それは記事の本文を直さないといけなかった 司 会 保田 柴田 私は今回の朝日新聞問題は、 川上 井上 岡 大阪が見出しを提案したんです 川上 見出しを変えれば本文も変えなけ 問題なかったと思う。事実のままだから。 疑問を呈するということで。 次に柴田さんから中間意見をお願いする。 大阪整理部提案の見出しにしてお 自陣にゴールしたような失敗があった 三つのオウ n

尾を引く大失敗だというのが私の意見だ。ざ断っている。この対応は大失敗で、しかも後に慰安婦問題の責任を取ったのではないと、わざわ

吉田調書の記事は誤報でもなければ、虚報でも古田調書の記事がそんな記事でないことは、すぐがあり、編集局長や社長が辞めているが、今回のがあり、編集局長や社長が辞めているが、今回の間の場合、過去に伊藤律会見記事件やサンゴ事件間の場合、過去に伊藤律会見記事件やサンゴ事件間の場合、過去に伊藤律会見記事は決議しているが、金報でもおいる話だ。

提案が通っていれば何ら問題のない記事だ。と、川上報告にも出ていた通り、あの記事出稿前い。川上報告にも出ていた通り、あの記事出稿前い。川上報告にも出ていた通り、あの記事出稿前い。川上報告にも出ていた通り、あの記事出稿前にない。川上報告にも出ていた通り、あの記事出稿前には問題がなかったかと言えば、そうではな

退避して次の指示を待てと言ったつもりなんです 原所 つけ 行ってしまった。 らったわけです」とある。 が、2Fに行ってしまったと言うんで、まずG (グループマネジャー)クラスから帰ってきても ぱねたようだが、吉田昌郎さん(福島第1原発のことだ。書いた人たちは「命令違反だ」と突 ·発)に行けと言ってないんですよ。近辺に一回 あの記事は見出しがちょっと強過ぎたというだ 指示に反しただけでなく、 (概略)は「本当は私、2F それは明らかに所長の意図に反 つまり、 命令違反だと言 必要な人まで (第 2

> ければならないとなれば、 うとする。それが少し強過ぎたので社長が辞め 救う唯一の道が調査報道だと思うからだ。 新聞はもう凋落の一途をたどるしかない。 やめとけ」となる。そんなことをやっていたら、 ものを報じる際は、 査報道が難しくなる。 う対応は一体何なのか。 えば言えないことはない。 それを記事を取り消し、 ある程度アクセントを付けよ 記者が独自に掘り起こした これが前例になれ 社長は「そんな記事は 社長が責任を取ると 問 それを 調

残念ながら見向きもされなかった。 消したら駄目だ」とPRCに意見書を出したが、 私はかすかな期待を抱いて「こんなものを取りす。『「427月

当であることの理由は何も書いていない。

お、PRC報告書を詳細に読むと、よく調べただ、PRC報告書を詳細に読むと、よく調べただ、PRC報告書を詳細に読むと、よく調べただ、PRC報告書を詳細に読むと、よく調べただ、PRC報告書を詳細に読むと、よく調べただ、PRC報告書を詳細に読むと、よく調べ

PRCの審査の対象にすべきものだろう。 の記事が出て、東電の所員たちから「逃げたと言われては人権侵害だ」と訴えてきたのなら分かるの記事が出て、東電の所員たちから「逃げたと言をどう救うかというのが本来の役割だ。5月20日 PRCは、報道によって人権が傷つけられた人

は、あの記事を書いた記者たちで、記者生命があの取り消し記事によって人権が傷つけられた

0

傷つけられている人がいるのに、それを救おうと傷つけられている人がいるのに、それによって人権がする」と社長も言っていた。それによって人権がなくなるかもしれない措置を取った。「厳重処分

なのかなというのが私の率直な意見だ。っている。こんなことをやっていて新聞は大丈夫は、私は怒り心頭というよりも、情けないなと思く回の朝日新聞の処置とPRCの対応について

「命令違反」という言葉が強過ぎるという意見 「命令違反」という言葉が強過ぎるという意見 「命令違反」という言葉が強過ぎるという意見 「命令違反」という言葉が強過ぎるという意見 「命令違反」という言葉が強過ぎるという意見

続いていた。
お局あの問題は、一つは見出しを付ける部門の結局あの問題は、一つは見出しを付ける部門の

ともPRCの報告書に詳しく出ている。

が危機にひんする状況ではないか。 なかったということだろう。スクープをした記者なかったということだろう。スクープをした記者のに、今回はそのチェック機能が記事に反映されのに、今回はそのチェック機能が記事に反映され

ちは反論もなく、首をひねって何も言わない。上 そうだそうだと言ってくれるのだが、現役の人た としても言わなければいけない。OBに話すと、 という社の判断は大間違いだということは、なん が、せめて大阪でやったらどうだと言ったわけだ。 た。 事に一番いい見出しを付けているのは大阪だっ のかな、という印象だ。 くない。全部大阪で組んだらどうだ」と提案し う卒業論文で、「東京は出稿が多く、記事の7~ た。私は東京勤務ばかりだが、自分が出稿した記 た。採用されなかったが、それは私の実感だっ 8割は東京出稿だから、 判断に対して従順な記者が多くなってしまった 今回のスクープ記事を「取り消し」「社長辞任」 私は退社するとき、「 遠い方がよい。本当は富士山頂でやればいい 書いた記者のそばにいると判断がゆがむか 朝日 東京で記事を組むのは良 新聞改造計画」と

池上論文をボツにしたのも、外に伝わってから池上論文をボツにしたのも、外に伝わってからところが今回の最大の原因で、それを直すにはもう一回、「新聞はデスクがで、それを直すにはもう一回、「新聞はデスクがで、それを直すにはもう一回、「新聞はデスクがで、それを直すにはもう一回、「新聞はデスクがで、それを直すにはもう一回、「新聞はデスクがで、それを直すにはもう一回、「新聞はアスクがらしている。

を扱っているが、原発の吉田調書の方に重きがあ婦報道をめぐる検証で、川上報告は山田論考全体気が伝わってきます(笑)。 岡さんの報告は慰安司会 柴田さんの話は熱いですね。若々しい熱

り、 ういうことがあると社が自己規制したり、 題として、柴田さんから説明があったように、こ 題、 をなくす記者が出たりということがある。 主導権とか。もう一つはジャーナリズム全体の問 の東京と大阪の関係とか、 口として、一つは朝日に個別の問題がある。 ボツ問題は後で意見を頂くとして、 原発調書の問題、この2テーマに対する切り 柴田さんからもその話があった。 社内構造とか、編集の 慰安婦の 池上 やる気 一原稿 朝日 間の

考えればよいのか。 誤解――といろいろ出てきたが、この扱いをどう 確認したいのは、誤報、事実誤認、捏造、虚報、 これから自由な発言を求めます。その前に一つ

柴田捏造と虚報は同じだ。

おおかがあると思う。というのが私の基本的な見解だ。見出しも評価的の意見を付するのを誤解と言うのは間違いだろうであって、事実を前提として、それに対する評価であって、事実に反することを言うのは誤報中の誤報

たまで、
 たいうごさんで
 たいう恐ろしい話になっている、法律用語で言うとり
 いう恐ろしい話になっている、法律用語で言うという恐ろしい話になっている、法律用語で言うといかなる法益侵害があったのか。私的な利益が侵害されたのか、あるいはもっと大きな公の利益が侵害されたのか、あるいはもっと大きな公の利益がら
 たいうご言葉を使うべきだろうと私は思っている。
 誤報という言葉を使うべきだろうと私は思っている。

というよりも虚報だと思う。
「司会」従軍慰安婦問題の吉田清治証言は、

誤

そうですね。

司会 だから取り消さざるを得ない。訂正がで

思いはある。 ことを誤報と言うのは、ちょっと割り切れない 安婦について吉田氏の言葉を真実だと信じて書い な婦について吉田氏の言葉を真実だと信じて書い れはそれで一つの話かなという気がする。従軍慰 れはそれで一つの話かなという気がする。従軍慰 の話が真実と思う相当の理由があれば、そ

んと言うのは無理だと思う。たわけだから、それを最初に報じたのがけしから、特田 「自分は悪いことをしました」と告白し

は確かに正確な報道だ。 岡 「発言者はこう言っています」という報道

言を最初から疑えというのは無理だ。 に、「私はそれを人間に応用した」というのが説に、「私はそれを人間に応用した」というのが読に、「私はそれを人間に応用した」というのが読い。とからのが読い過去にもいっぱいあって、最近では、山中伸続の過去にもいっぱいあって、最近では、山中伸続は過去にもいっぱいあって、最近では、山中伸続は過去にもいっぱいあって、最近では、山中伸続は過去にもいっぱいあって、最近では、山中伸続は過去にある。

が書けない、取材もできないことになる。 岡 無理だし、そんなことを疑っていたら記

女性の目、人権の目

で、片方は素人だという分け方はしない。男が武婦と普通の人でレイプされるのに、片方はプローロ 女の目から見ると、男性のように、慰安

得いかない。

\$ う。吉田清治証言のようなことはなかったとして ありませんでした」というのはあり得ないと思 ず秦論文は信じられないし、「全然そんなことは に話すかどうか。女の身から言うと、その点でま きたのかどうか分からないが、あちこち聞いて回 秦論文のように、「こういうわけで、全くなかっ って、そこの人たちが自分の胸の内を全部、 同じように、女が戦場に置かれれば、 器を持って戦場に行き、 たんだよ」と粛々と進んでいくことにはとても納 に遭って、 秦氏が戦後調査に行って、 他にそういうことがあり得たかもしれない。 レイプされるか殺されるかだと思う。 彼は朝鮮語がよくで の危険に震えるのと 性的な被害 正直

定していない。その意味で僕は評価している。接的な意味で強制があったことを秦氏は決して否葉が使われるが、直接的なものがないとしても間で止めている。よく「直接・間接云々」という言を た範囲ではそういうことはなかった」と言うことの過 秦論文はその辺は謙虚に「自分たちが調べ

加藤 「広い意味で強制があったことを秦氏は朝のたと断定してよいと思う」と述べて、秦氏は朝い上げられた論考を熟読すると、途中若干の譲取り上げられた論考を熟読すると、途中若干の譲取のことを、証拠不十分として批判した上で、ないことを、証拠不十分として批判した上で、かれこれ総合してみると、朝鮮半島においてはしずれこれ総合してみると、朝鮮半島においてはいるように見えても、言わんとすると歩を示していない」と言われるが、岡さんが決して否定してよいと思う」と述べて、秦氏は朝かれこれを言いない。

ちの置かれていた状況を考慮した「軍または総督論を出すことによって、当時の朝鮮半島の女性た見えながら、狭義の強制連行の定義に依拠して結秦氏は「強制連行」概念の拡大を試みたように鮮半島に関する「徹底調査」を終えている。

府が選定した業者が略取、

誘拐や人身売買により

『連行』した場合も含む」という、広義の強制

連

本語のでは、 、フェミニズムの集会で元慰安婦の証言 を含め、証言者たちの苦悩を酌み取って広義の定 を含め、証言者たちの苦悩を酌み取って広義の定 を含め、証言者たちの苦悩を酌み取って広義の定 を言め、証言者たちの苦悩を酌み取って広義の定 を言め、証言者たちの苦悩を酌み取って広義の定 を言め、証言者たちの苦悩を酌み取って広義の定 を言め、証言者たちの苦悩を酌み取って広義の定 を言め、証言者たちの苦悩を酌み取って広義の定 を言いたが、現場にいた人間の多くは男性研究者 とどめようとして、狭義の「官憲による強制 にしていくという社会的機能を、秦論文は果たして がると思う。

ア・世界の平和に資することでもある。
「強制連行」の定義をめぐるギャップについて
「強制連行」の定義を必ぐる
の視点を取り続けていくのが、朝日の見識をとどまらず、この検証を生かして広義の「強制連証したのだから、単なる過去記事をめぐる謝罪に詳しい説明が行われている。せっかくここまで検は、8月5日の朝日の慰安婦問題の検証の中で、「強制連行」の定義をめぐるギャップについて

えば、見出しやキーワードの選択ということは、「原発事故に関する「吉田調書」の方についてい

常に重要だと思う。朝日に限らず新聞がこれから生きていくために非

見出しがまずくてミスリーディングになってしま 職に就いた関西の大学で、抑圧されていた側の視をかなりやってきた。新聞研究所で学んだ後、教 と紙面に現れるような新聞にしてほし め合いながら走っている記者たちの姿が生き生き 東京新聞にヒントを得て、考えをぶつけ合い、 ったという場合に、どう処理をしたらいいか。 田調書に関する記事自体は大変価値があったが、 育て合う」という狙いで、 アを主体的に解読し創造することのできる市民を らはジェンダーを含む人権の視点から、「メディ 点から見直す姿勢を学び、東京の女子大に来てか 「見出し訂正」というようなことがあるのか(笑)。 見出しについても、しばしば議論になった。 私は人権を軸としたメディアリテラシー 授業を組み始め 0) 吉 深

性たちの逃れ難い慰安婦経験の存在を不可視化し行の定義を採用する人々の考え方を打ち消し、女

個人と組織、原点からの再点検を

疑問だ。 中北 慰安婦問題で8月5、6日の特集をやっ中北 慰安婦問題で8月5、6日の特集をやった。その来ると思っていたら、全く腰砕けであった。その据えて取り組んでいるはずで、第二、第三の矢が据えて取り組んでいるはずで、第二、第三の矢がよっている。

調するか、難しいところだ。明示報道と似たところがあるが、見出しで何を強し、その意味では誤報ではない。東京新聞の論点撤退してしまったと思ったのは間違いないだろう「古田調書問題は本人がある時期、指示に反して

廃止になった。 だと考えてきた。反骨精神、 のだ」ということに気付き、パンフレットで広め スではその四半世紀前、 の原点は18世紀にイギリスで起こったパンフレッ たことからだ。こうした大義を実現するのがジャ たクエーカー教徒たちが「奴隷は人道に反するも 人と死んだ結果、奴隷解放が実現したが、イギリ ト書きだと思う。 言ってきたが、 界的視野の縦横の軸で物事を見るとか、 ナリズムの原点だ。 大学で10年ほど教えて、 さらに半世紀前にロンドンの印刷屋に集まっ 私の結論は、 しかも無血で。それを招いたの アメリカでは南北戦争で何十万 1838年に奴隷制度が 近代ジャーナリズム 批判精神、 ナリズムとは 歴史と世 いろいろ

に、中途半端な構えで失敗したのが今回だ。当の覚悟で、周到な構えで戦わねばならないの強まった。それが朝日バッシングだ。これには相権の「戦前の日本に戻そう」という動きとともに義、人権だと思う。それに対する攻撃が、安倍政と、人類の理想を実現する戦後の平和・民主主と、人類の理想を実現する戦後の平和・民主主

できて「不偏不党」が強調され過ぎてしまうと、下きて「不偏不党の地に立って」という言葉が入った。「不偏不党の地に立って」という言葉が入った。「不偏不党の地に立って」という言葉が入った。「不偏不党の地に立って」という言葉が入った。「本になってしまう。現実の中から、大義に沿っ党」を強調し過ぎると、現状にとらわれただけの党」を強調し過ぎると、現状にとらわれただけの党」を強調し過ぎると、現状にとらわれただけの党」を強調し過ぎると、現状にとらわれただけの党」を強調し過ぎると、明日新聞網領にに、中途半端な構えで失敗したのが今回だ。

きだと思っている。朝日らしい進歩性が維持されるかどうか注目すべ萎縮に結び付きかねない。そうしては駄目だし、

権力への屈服を象徴する事件。 朝日は体制一新し禁止を免れた。 の機会をうかがっていたとされ、 を問題視され、発行禁止にされかけた事件。大阪 新聞が1918年8月に掲載した記事中の などに関し寺内正毅内閣を糾弾していた大阪朝日 白虹日を貫けり」(内乱の兆候を示す故事成 [注] 大正デモクラシー 0) 先 元頭に立 寺内政権は弾圧 大阪朝日の国家 一つて米買 文言 語 騒 動

か、と話されている。 だったのか、今後一体どうしていったらいいの(後の祭り)」、朝日は深い傷を負った。事実は何して発言するが、英語で言う「Damage is doneして発言するが、英語で言う「Damage is done

トは見事立ち直ったわけだ。

いる。 界」がワシントン・ポストに出た。 関係の記事を書くということで時間をもらってい されている。ジャネット・クックによると、麻薬 く捏造だったことが明らかになり、 女性で、しかもピュリツァー賞を受けている。 だ。書いた記者はジャネット・クックという黒人 の8歳の少年のドキュメンタリーのようなも た。自分は イン患者の情報を一人の少年にまとめてしまっ たのに、書けない。ワシントン周辺の多くのヘロ ところが、これに疑問を持つ人たちがいて、 1980年に典型的な捏造事件、 非常にプレッシャーがあったと言って ヘロイン中毒 賞は当然返還 全 0)

読者からの手紙が殺到して、当時の編集長

ボブ・ウッドワードだったが、 たと思う。 が起こったか検証したが、その間、ベン・ブラッ ったのがウォーターゲート事件を告発した有名な ァー賞を受けている。ブラッドリーとともに頑張 ドリーは編集長を続け、 いいのか」とか、皮肉たっぷりの内容だっ ディープスロートと一緒に住んでいると考えても か、「今ごろジミー少年はワシントンのどこか 当にいることを信じなくてはいけない 紙を載せた。「われわれはディープスロ ン・ブラッド ポストは委員会を立ち上げ、 実はポストはその間、 リーはワシントン・ポストにその 辞めたのは90年初めだっ なぜこういうこと ワシントン・ 七つのピュリツ 0) 1 かと 卜 ポ が ス で 本

サイレントマジョリティーの読者の信 ばグルジアの攻撃が先行したというものであ 載せた。ロシアは弱い者いじめをしているという だと思う。 の内容は両方に責任があるが、事実関係から言え った。タイムズは9年のEUリポートを取 れであった」と証言して、 認識が広がっているとき、容易なことではない。 表したが、タイムズはむしろ逆であるとの記事を グルジア政府はロシアが先制攻撃を仕掛けたと発 オセチア紛争でグルジアとロシアが衝突したとき、 ヨーク・タイムズの2008年の記事がある。 こういった地味な記事の積み重ね は制 グルジア外交官が議会で「先制したのはわれわ また、真実を報道するという意味では、ニュ 度的、 私は朝日によみがえってほしい。 抜 本的 改革 が 国民から総スカンを食 水めら れよう が、 らしい。それの頼を得るの われわれ 4材。そ 南]

2015.1.1

ったのか?

かまそうかとか(笑)、そういう考えは働かなか

記者個人の問題なのか、

朝日

この仕組

た。「放射性物質が全部出て、

まき散らしてしま ジは東日本壊滅で

わけですから、

我々のイ

メー

大きな特ダネだからこそ、

責任逃れで偉い人一人

も読んでいない。(記者)2人だけでというの った、(吉田調書を)次長も読んでいない、部長

が

よく通ったな。普通なら考えられない。こういう

みの問題なのかということで、

恐らくその両方あ

H 遅れな感じもしますが 張 激励ありがとうござい

、ます。

ちょっと手

か。 と、必ずそこにフィクションというか大義が入っ れないのではないか。評価を加えた事実となるは必ず評価が入ってしまう。事実と評価は分けら 純に事実として拾い上げられるのか。事実の中に 問題」があると思う。 てしまう。 岡さんが最初に言われた「事実と評 大義なしに記事は書けないのではない 事実というのはそんなに単 価 \mathcal{O}

では うが、評価の問題をもう少し根本的に考えるべき 事実だけを拾うと保守主義になる、と中北さんは フィクションというか、思想と言うとまずいと思 指摘した。それは全くそうで、事実を拾うときの いは正義感の持ち方が少しおかしいのではないか。 が面白い、という一面もあると思った。朝日新 今回 ないかというのが今回の問題で思うことだ。 I の 問 だんだん新聞研的になってきたね 朝日バッシングは、 題も 組織の問題より、 権威をひっくり返す 記者の大義ある . (笑)。

紙面は、 聞は粘り強く、信頼を回復していくしかない。 記事を何百万部も新たに刷ったことになるが、 証のためにはやむを得なかったのだろうか。 一番興味がある。PRC見解を載せた朝日の特別 ぼくは整理が長かったので、 「命令に違反して9割が原発を撤退した」 調書を報じた朝日新聞の東京、名古屋、 問題の記事を再録 の紙面は、 レイアウトは異なるが、 している。 原発の吉田調書に 取り消した 見出 大 検

> 良かった。 うした扱いになる。大阪本社の紙面が東電側の言 の意向もあったとは思うが、この記事からは、こ い分を曲がりなりにも一面に持ってきた。これは いう要素はみんな入っている。 出 稿元の 東 京 か Ď

引き下がらざるを得ない。だが、もう少し記事の 問を持っても、 書き方があったのではないかと思う。 整理部員として考えたとき、 「第二弾がある」とか言われると、 記事にちょっと 疑

それも、前からの経過が伏線として埋め込まれて いたからではないかというのが、私の意見だ。 と言われると、大阪は頑張れなくて引っ込んだ。 か。大阪が提案をしても、 リーは完結するという伏線があったのではない れていて、こういうことになれば大団円、ストー ここに行き着く予定調和みたいなものが埋め込ま な思ったと思う。あの原発事故以来、どうしても 気持ちを振り返ると、「あ、やっぱりか」とみん だ、5月20日にこの朝日の特ダネを読んだときの つは見出しの問題で、 もう一つ不思議に思うのは、川上報告の中であ 近藤 三つばかり不思議に思うことがある。 あれなら、こんな問題にはならなかった。た 大阪本社から提案があっ 東京に「証拠がある」

> 日新聞では、 るだろうが、 まず考えられない 人間関係はどうなって いるの か。

> > 毎

う気がする。 悪く言えばサラリーマン根性が働いたのかなとい むのは嫌だ、次の社長に回しちゃえという(笑)、 な知っていたと思う。しかし、自分が手を突っ込 も、延々と続いていて、 三つ目に不思議なのは、 頑張った理由が分からない。 間違ったら早く謝る。 恐らく代々の社長はみん それができなかった理 池上論文でも 慰安婦の問 そうだ 題で

のは言った。社長が感想らしきものを言えば、下 載せなかったか、川上さんは知っていますか。 は忖度して載せない。あれは全く信じられない。 せなかったか、 司会どういうやりとりがあって、 (木村社長は) 理由は全くなしに、 記者会見でも池上 一論文をなぜ 感想らしきも 池上 一論文を

が広がっていて、「決めたのは木村さんではな て分からない。 か。それを部下の杉浦 載せるなと言ったという説もある。そういう に押し付けた」という説も有力だが、 川上あまり触れてほしくないが、 (信行取締役・ 木村社 証拠がなく 編集担当) 長が

想らしきものは言ったと思うが……。 対策など取れなくなって、パニック状態にあっったところを読むと、通常のマニュアルに従った どうですか」と会場の記者から質問があっ 近藤 木村社長は記者会見で「池上論文を見て 吉田調書の5月20日付の記事のもとにな 感

必ずしも勇み足だけではなかったと思う。ということを読み直すと、誤報とは言えないし、「本当は私、2Fに行けと言っていないんですよ」と言っている。これをもとに、吉田調書のすよ」と言っている。

朝日の大阪と東京の話があって、大阪を持ち上思い上がりがあったのかもしれない。というのが原則だ。「命令違反」と断定したのは、いけないし、記事を書く場合は「表現は慎重に」ただ、こういう調査報道では脇を固めなくては

の窓口だ」という意識と、人権を重視して書いての窓口だ」という意識と、人権をする、慰安婦問言を載せた。その後、吉田清治は眉唾だよと分かってきたにもかかわらず、人権を守る、慰安婦問題を訴えるという方向で走り続けてしまった。吉題を訴えるという方向で走り続けてしまった。吉け治発言は偽りであったと、どこかではっきりさせなければいけないのを怠ってきたのは、大阪は「アジアへげていただいてありがたいが、大阪は「アジアへげていただいてありがたいが、大阪は「アジアへげていただいてありがたいが、大阪は「アジアへ

なぜ淡々と書かなかったのか。を書くだけで「原発は恐ろしい」と示せたのに、

ところが「新聞は絶対に正しい」と思い込んでい るが、かなり「後付け」で言っている感じだ。取 まの感想。朝日がおわびや釈明を何度も載せてい では」と心配する朝日ファンもいる。 であり過ぎると「紙面が全く、つまらなくなるの ングに負けて、 る読者が多い。この落差! 朝日が今回のバッシ ローすればよいと思わなければ、何も書けない。 やっているはず。もし間違っていたら続報でフォ 材したり記事を作っている時は、時間に追われて 問題で登場する会の関係者だったとの指摘。 個人的なことで言いづらいが、その義母が慰安婦 者に任せた方がよかったのではとの疑問が残った。 そうなら、無用な誤解を避けるためにも、 砂山 途中参加で、議論の流れも分からないま 慰安婦問題では韓国人女性と結婚した元 自分に課した「反省の弁」に厳密 別の記 記者 もし 0

吉田調書の件も、やっぱりまずかったと後付け 吉田調書の件も、やっぱりまずかったと後付け 吉田調書の件も、やっぱりまずかったと後付け 方して内閣広報室から電話がかかってき 定秘密保護法のことを3月号で扱おうとしたら、 定秘密保護法のことを3月号で扱おうとしたら、 定秘密保護法のことを3月号で扱おうとしたら、 定秘密保護法のことを3月号で扱おうとしたら、 定秘密保護法のことを3月号で扱おうとしたら、 方にも取材してくれないか」と言わ がない。うちにも取材してくれないか」と言わ れたそうだ。そういう取材をしていることが、ど かちない。 うして内閣広報室に漏れるのか。

柴田 秦郁彦論文で、現地まで調べに行っ司会 最後に柴田さんから一言を。

7

変なことで謝ってしまった。そういう事件だったがない。ただ、あの時の政治との絡みで、朝日が は謝っていないというのが現在の状況だが、悪か きりひっくり返っている。朝日が謝って、 ったのはNHKであって、朝日にはほとんど問題 高裁で朝日が完敗だと言うが、内容は高裁では 証したが、秦氏の言っていることは全く違う。 のがなかったかのような論調は、 評価するが、それによって従軍慰安婦問題その 吉田 「文春」週刊誌路線であって大間違いだと思う。 第二論文の朝日いNHK問題は私も詳 清 治証 言はおかしい」と言ったことは まさに N H K 細に 9 最 検 <

司会 盛り上がったところで時間切れになるのは残念です。岡さんの秦論文の解読、川上さんのは残念です。岡さんの秦論文の解読、川上さんのは残念です。岡さんの秦論文の解読、川上さんのは残念です。岡さんの秦論文の解読、川上さんのは残念です。岡さんの秦論文の解読、川上さんのは残念です。岡さんの秦論文の解読、川上さんのは残念です。

ということだけは一言言っておきたい。

力が退化しているようだ。 慰安婦報道とその後の対応、 ズムの着地点ではないか。 のキーワードが示唆するところが朝日ジャー 念頭に置いて書く」と語っていました。この四 ず、読者(庶民)のこと、次に自由のこと、 に平和、 かつて朝日の論説を率いた森恭三さんは 再構築する時ではない 目指す着地点はさっぱり見えない。 第四は議会制民主主義。この四つを常に か、 しかし、 今こそ原点を見詰 吉田調書問題などを と思います。 問題視され ナリ



朝日は「九柱の功績を讃える場合は、 湾強襲・ 英霊の事跡を汚さぬよう」にと、 別攻撃隊、九勇士 輝く特別攻撃隊」、東京日日 は 特殊潜航艇の9将士が2階級特進し 年3月7日付朝刊各紙は、 ったことを大々的に報じた。 、珠湾攻撃から3カ月後 朝 の名称を用い 特別攻撃隊の九将士」、読売「軍神 H 盡 忠 古今に絶する軍神九柱 日本海軍の忠烈世界に宣揚」。 (略) これに参加し戦死した 0) 勝手な呼び方をして 1面トップの見出し (毎日)「軍神 1 9 4 2 国民を戒める記 「軍神」とな 必ず (昭和17 『特別 真珠 偉勲 特

2人乗りの小型潜水艇。 米艦船を水 **゙**アリゾナ_ 特殊潜航艇は 大偉勲といふべし」と発表した。 から5隻がそれぞれ2本の魚雷を積んで湾 面下 を撃沈させたとし 航空機による爆撃・ から攻撃することが任務だった。 「人間魚雷」の発想から造られた 航艇 真珠湾攻撃では母艦 が 米海軍の 「今次大戦史劈頭米海軍の主力戦艦 雷撃と連携して 連合艦隊 **(**潜

> 状」を贈る。 山本五十六司令長官も「その武勲抜群」との「

> > 感

の矢部貞治は わけはない。 とそれぞれ記す。 である。その記事を新聞で見ているうちに、涙出称号をもって全国民に崇められるべき皇国の精華 特別攻撃隊のこと、 戦争初の〝軍神誕生〟 体となって作り上 う言葉はない。 でて止まらない」 H 記し、 しかし、 東京日日の論説委員・森正蔵も「軍神の 大本営発表と感状のどこにも軍 軍部の指 「今日新聞に発表されたハワイでの 統制下の新聞 (森正蔵日記 一げたものと推察できる。 鬼神を泣かしむ」(『矢部貞治 に東京帝大教授で海軍嘱託 示、 それを受けた新聞が一 が勝手に軍神化する 『挙国の体当たり』) 太平洋 ・神とい

絶賛の総動員

朝日は める。 尽くされた。 軍神を生み育てた母親を一人ひとり取り上げて絶 英治ら作家、 き、 "肉薄必中」とい 各 を作る。 鈴木貫太郎 紙の 読売は歌詞を公募して軍歌「嗚呼特別攻撃これを通して国民に戦争への滅私奉公を求 「軍神の母」のタイトルで企画を開始し、 が紙面は 感動と涙を誘うものばかりである。 歌人などを総動員しての賛辞で埋め った退役海軍大将 (敗戦時の首相) 九勇士の横顔」、 0) 遺書や寄せ の談話、 「でかした 吉川 書

事を載せた。

話 『古川ロッ 海軍省より真珠湾の パ 昭 和 H 記 九勇 菊田 子の 劇化 夫 上 一演を か b

電

 $\underbrace{\mathbb{H}}_{\circ}$ 散りぬ」を書き、 すゝめられたから、 なって、 る。主演のロッパは は9軍神の つき代へることにすることを相談」 ロッパ よく泣く」と初日 1 人 座の劇作家・ 4月1日から有楽座で上演され 古野繁実少佐をモデルに 四月狂 「シーンと水を打ったように 言の の観客の様子を記す。 脚本家であった菊田 中の一 を (3月7 「若桜 引 込め

推測と希望の戦果

モ、 四(午後7時4分)、連絡アルモ爾後杜絶ス」と記『トラ』(「奇襲に成功」の暗号)ヲ受信ス。一九一 ニ進入シ、 し「当時ノ状況ヨリ見テ各筒 によるものと判断せられる」 更に沈没せられた事確実」 軍令部の福留繁第一部長から「九日午後戦艦一 艦格納筒 高松宮は 殊潜航艇だったの とともに沈没、 力艦がもう1隻撃沈されたとの米国の発表を加え 於ける我れ奇襲成 戦艦アリゾナは、 連合艦隊の参謀長・宇垣纏の日記 宇垣は 遺憾ナガラ只今迠一人モ収容シ得ズ」と書く。 が造られている。 海軍軍令部第一課 (特殊潜航艇) 「(8日) 一八一一 (午後6時11 攻撃ヲ決行シ得タルモノ(ト) 豆潜 現在はその上に「アリゾナ記 か。 (特殊潜航艇 乗り組 功 撃沈させたのが、 開戦2日 <u>٦</u> (作戦) ヨリ自己符号、 「格納筒 んでい ラ との連絡がくる。 (特殊潜航艇) 0) 後の の参謀であった 決死の行、 た将兵千 電と併 (特殊潜航艇 『戦藻録』。 高 本当には 続イテ 認ムル せニ 松宮 分 主 本 日 H 特

記録する。(撃沈)は必ずや成功を収めたり」(12月10日)と

生還しておらず、 隻」を加えた。 が方の損害の中に 轟沈した」とし、 して「米太平洋艦隊は全滅せしめた」と発表。わ 真珠湾攻撃から 「少なくとも戦艦アリゾナ型 しかし、 航空部隊と合わせた総合戦果と 戦果は未確認であった。 10 「未だ歸還せざる特殊潜航艇五 日後 特殊潜航艇の乗員は誰も の 18 大本営 海軍 一隻を 部 は

『おグマーロ』 ・「『さんまません」。 判断を交えて「アリゾナ撃沈」としたのである。 一符節が合いそうな情報をつなぎ合わせ、希望的

と併せ国民を沸き立たせた。 潜航艇への乗り組みは志願ではなく、指令だっ スや写真は途絶していた。 優先した。同盟通信や新聞社は米国からのニュー 潜水艦ノ手柄ヲ発表セネバイケナイト云フ意見多 分だった。 い写真が新聞に掲載されると、 て入ってきたアリゾナが傾き、 シ」とある。こうした海軍の内部事情から、 た。その若い将士に花を持たせる政治的な狙いが 『高松宮日記』に「潜水艦希望者ガ少ナイノデ、 しかし、第三国を通し 軍神化する状況は十 真珠湾奇襲の成功 沈没するすさまじ 特殊

「戦果をくれないか」

に戦果を報告するため帰還した淵田は12月26日、航艇の戦果は「でっちあげ」られたと書く。天皇した淵田美津雄(当時中佐)は自叙伝で、特殊潜真珠湾攻撃の航空隊隊長で第1次攻撃隊を指揮

2015.1.1

だよ」と説明して断る。 は工作船が横付けしており魚雷は利かなかったの ることを確認している淵田は がアリゾナの火薬庫を貫通し誘爆させた結果であ か」と持ち掛けられる。 大 「アリゾナの轟沈を特別攻撃隊の戦 本営 1の潜 主務参謀・ 撃沈は水平爆撃隊の爆弾 有 「アリゾナの外側に 泉龍之介 果にくれな 中 佐 から

が1隻、 ę' は撃沈されたのが2隻、自爆1隻、 リカ海軍作戦史』で、それによると、 ル・モリソン著 2人の元海軍少将が ちなみに、 記録されるべき戦果はなかった。 消息不明が1隻とあり、 戦後出版された宇垣の 『太平洋の旭日・太平洋戦争アメ 「注」を付けた。 米国 捕獲されたの 特殊潜航艇 [側から見て 戦藻録』 サミュ に 工

軍神に対してより一 攻をやったんだ。アリゾナは彼らにあげないさ 園で「九軍神合同海軍葬」が盛大に行われた。 神化」の工作は進み、42年4月8日には日比谷公 Oい」と言って収めたという。 田は「特殊潜航艇は、 出した航空攻撃隊内に不平・ 田の自叙伝によると、 淵田はすぐに南方作戦に転じたが、その間 「感状」 が出たのは、 段低 これには55人もの犠牲者を 始めから生還を期さない 合同葬の2日後。 航空部隊に山本長官 不満が強かった。 武勲顕著」 だった。 中身も 軍 淵 淵 特

抹殺された「捕虜第一号」

者に限らず、国民の間でも疑問を抱く向きも多か特殊潜航艇5隻になぜ9軍神なのか――軍関係

ンパス た。 神の1人として扱われた。 不明になっていたのを、 の艇のことで、 まった。モリソンが記している「捕獲1隻」はこ った苦悩を書き残している。 からである。 ラジル・トヨタ社長) 「捕虜生 同乗の稲垣清 真相は (羅針儀) 活四年』 10 酒巻は戦後、 酒巻は脱出して漂流、 人のうち酒巻和男少尉 で、 が故障して暗礁に乗り上 二等兵層は行方不明になり、 捕虜の体験や生 が米軍の 日系2世の米兵に捕まっ 著書 酒巻艇はジャイロ 捕虜になっていた 『捕虜第一号』 海岸で意識 戦 生き残 上げてし 後、 軍

巻はカッ 酒巻和男」は消された。 聞に発表された中から酒巻の書いた「細心大胆 避く」などの決意をそれぞれ表したものだが、 13 きない、 る。「尽忠報国」 水交社で書いた寄せ書きを なかった。海軍は酒巻の存在自体を抹殺にかかる。 る。もちろん当時、それを記事にすることはでき いた」と書いている。 社に籍を置いていたので 捕虜生活四年』で序文を書いた木村毅は 淵田自叙伝) てはまず 宇垣は「決死の十勇士」 酒巻のことが「第三国 軍 -された。 -神と同じ任務に就いてい から外電で伝わってくる。 酒巻の存在はひた隠しに隠された。 「至誠」「断じて行へば鬼神も之を 捕虜になったのを軍神にはで (国 分 同盟も知っていたはずであ 10人の集合写真からも (酒巻のことは) スウェー が出撃を前にして呉 俊英 = 共同通信社社友) 『戦藻録』に記してい デンあ た中に捕虜が 酒巻の 知って 「新聞 た ŋ

ウオッチング 野党もメディアも「ダメよ~ダメダメ_ 今後の安倍政 ~本丸、はやはり憲法か

制民主主義での選挙結果は、 戦後70年、この国はどうなるのか。そう考える 最大の責任がある。 意打ちの選挙に持ち込んだ戦術の勝利だが、 なる。「こうなったのは、 するのは天に唾するものだが、それでも言いたく どうして与党にこれほどの議席を?」と思う。 前にも書いたし、メディアにいた人間が口に の衆院選 の結果には 私もその1人だ。 有権者がバカだから」 「こんな政治状況で、 選挙権を持つ国民に 年が明けた 不

「自民圧勝」 の衝撃そのまま

落選するなどして伸び悩み73議席。 3分の2を確保し、 放減した 議席を獲得。 年 12 月 14 一方で、 \mathbb{H} 35議席の公明党と合わせて定数の 投開票の衆院選で、 共産党が躍進した。 圧勝した。 民主党は、 次世代の党が 自民党は29 代表が

う意見が世論調査で多数を占め、 評価も下がって み切 三首相が消費増税を見送って予想外の解 たのを た。 「 理 解・ そのころの大方の関心は 納得できない」とい 「アベノミクス

共同の記事を使ってごく短く報じただけで、

の反応は鈍く、

新聞報道も不十

日

経、

体に関わる重大事だと考える。

かし、

私は、

報道への政治の介入であり、

たはず。 朝刊)、「自民単独で3分の2迫る」 売朝刊)、「与党3分の2超す勢い」 朝日朝刊)、「自公、 席予測では、 った。「自民、 れだけに、 自民党がどれだけの議席減でとどまるか」だっ 情勢はほぼそのままで選挙は終わった。 毎日11月25日付夕刊での専門家5人の議 公示後の各紙の世論調査結果は衝撃だ 最少は231で最多でも272。 300議席うかがう」(12月4日付 300超す勢い」(同日付読 (9日付 (8日付毎 産経 Ĥ

けが争う選挙区が31も。 台。 Ⅲ」「経済不満でも自民支持」が実態だった。 付朝刊記事の見出し「政権批判層、 で「野合」の印象が否めなかった。 余りしか候補を擁立できず、 4倍程度の差を付けていた。 示前の複数の世論調査で、 しかし、考えてみれば不思議ではなかった。 比例区投票先として、 野党の選挙区調整は拙速 自民党は民主党に2~ 内閣支持率はほぼ40 自民党系と共産党だ 民主党は定数の40% 日経11月24日 見えぬ受け 公

刊記事 散・総選挙を『すべきでない』 狙いに入っていたのではないか。 低く、投票率が過去最低だったことも、 う」と皮肉を言われる体たらく。 自民候補に投票するよりは、 たのは驚いた。 ンタビューで、 にまんまとはまってしまった。 油断していた野党とメディアは、 で、 挙プランナー 安倍首相に「野党が解散を批判し 安倍政 権に続いてほしいのだろ 投票へ行かない可 の松田 と考える層は、 解散表明直後のイ 毎日11月25日夕 有権者の関心が 政権側の思惑 撃る 氏は 政権側の 「解 非

> 性が高 れと、 思い込み、 ても、 が政権周辺にいたと認めざるを得ない。 党もメディアも全く 去年の 政権が後退局面に入ったというメディアの い」と述べていた。 投票者の心理まで読み込んだ「プロ」 「新語 ・流行語大賞」で言えば、 「ダメよ〜ダメダメ」。 野党の選挙態勢構築遅 それにし

プション」、安全保障関係法整備などを進 法改正」、 た。アベノミクスを 経は衆院選と「憲法改正」 何をやるのか。 最大4年という時間を得た安倍政権がこれ 狙う、本丸、はやはり憲法改定ではない 法人税減税、 優勢が伝えられて以降に読売、 ″隠れみの″ 「ホワイトカラーエグゼン を絡め に た社説を掲載し 「労働者派遣 め なが か。 から 産

公平 公正な報道

あり、 記者クラブでの党首討論会で 抗議声明を出したが、 日は同日 配信記事を使って東京などが報じた。 送っていたと、28日付朝刊で朝日、 公平中立・公正を求める」文書を在京テレビ局に TV報道、 解散 公平公正な報道は当然」 前日の11月20日、 「政権党が言うことか」、 萎縮させるな」と批判。 安倍首相は12月1日の日本 自民党が「衆院選 「日本には放送法 と片付けた。 毎日と、 東京は29 民放労連も 社説でも朝 共同 H

1 ア

展望

軽視したのだとすれば、 紙面を見る限 の視点から問題があると私は思う。 ŋ 記事を掲載していな それこそ「公平・ 公正 無視

問題などの論調では産経に近づいている印象だ。 国参拝を除けば政権に同調しており、 減などでは、 強めている。 原発などに限定して東京が 基本的に政権支持の姿勢だ。これに対し朝日、 日 のは産経 点は政権との Ŕ 一経は2紙より慎重だが、 この欄を担当してからの約1年半を振り返って 新聞 別の観点から捉えると、 東京は安倍政権に批判的で、 だが 各紙 現状に批判的と言える。 距離感。 の論調の亀裂は広がっている。 政治とカネ」や国会議員の定数削 スタンスが最も政権寄りな アベノミクスを中心に ″政論新聞 ″ 読売と産経、それに 東京が最も強 従軍慰安婦 読売も、 の傾向を 分岐 毎 靖

道」をどう捉え、 間 近づきつ には多様な形態があっていいし、 一つの在り方として認められるべきだと考える。 意味 題は、 て実際に政治を動かしていこうとする姿勢は、 私は政論新聞そのものを否定しない。 0 権力側との緊張関係と「公平・公正な報 あるというの 現在の新聞の幾つかは、危険水域、 どう保障するかではないか。そ が 私 の認識だ。 方向性を打ち出 言論機関 に

句か スロー ・ガンか

作ら 0 弟は歌人で、 が、 新聞 0 父も昔は歌詠みだった。 歌 壇 や俳 : 壇はよく読 む。 私 た は

必要だとしても、

創作物としての価値を度外視

つ

型文学が現実に肉薄する力に乏しいと痛感する。 見されたが、広がりや深さは限定的。 月1日付毎日歌壇の「無関心続けつづけて最期に 月以外はめっきり少なくなった。 法を決めむか」が希少例。 気高き理想掲げ来て我等がものに終に成し得ず」 月8日付朝日歌壇の1首ぐらいか。 や憲法・集団的自衛権などを取り上げた作品も散 か関心がない。この1年余りは、 は人間魚雷の回天のなか」が出色だろう。 にはほとんど見られない。 に現体制に批判的な新聞で、 わずかに印象に残ったのは、 戦争をせずと決めたるその国がいくさに備ふる 社会的な関心を示す歌や句が載るのは、 社会的 な問題をどう扱っているかという点 戦争に触れたものも8 6月30日付読売歌壇の 推進・ 憲法を歌った昨年6 中では、 特定秘密保護法 賛成派の紙面 「身に過ぎる 現在の短詩 昨 年 12 圧倒的

₽, あって俳句ではない。 感じたことを俳句にしただけ」と〝擁護〟 キャンペーン的に批判報道。 句で、その後も姿勢を変えない市に対し、 ルのメンバーが詠んだ俳句の月報掲載を拒否し 悟に個人的 市側は1月に諮問機関が意見を集約するという。 た。「梅雨空に『九条守れ』の女性デモ」という 私も市の態度はおかしいと思う。 昨年7月、さいたま市の公民館が、市民サー 俳人金子兜太氏が 意見を言えば、 運動として擁護することは 「ごく普通の市民が率直に この句はスローガンで 9月8日付朝刊で 批判を覚 した。 東京は ゥ

> 術にも質を求めなければ、 るのは間違っている。 かな広がりと深みを持たないと私は考える 運動から生まれる文芸や芸 結果的にその運動は豊

^時代遅れ ~ の計 報に戦後を思う

でも、 じ、後に「裕次郎」は自分で組織をつくって時代良」という、いずれも社会の主流を外れた役を演 かし、 はそぐわない。 ていたのだろう。 感を抱く中高年の多くが心情を投影し、 の流れに乗り遅れた後ろ姿に、 れた孤独な人であり続けた。 に順応したが「高倉健」は最後まで、 た」と言われた年だった。「アウトロー」と「不 ーは同じ1956 郎とセットで考えると見えてくる。 ったのではないか。それは、 意味などについて、ふに落ちる説明は 俳優として体現したものや、 日付夕刊各紙に載った俳優・高倉健氏の訃 方がなかった――。 れほど多く見てもいないのに、 た。 私見だが「高倉健」とは 好きな役者だったわけではなく、 その後の紙面に登場した談話や評 不器用で温かく優しい人柄は伝 つくづく、 そうした存在がい 戦後は遠くなったと感じる。 (昭和31) 旧聞に属するが、 ^時代遅れの戦 戦後の繁栄と豊かさ 年。 3歳下の故石原裕次 時代における存在の 「巨星」 なぜか寂しくて仕 急激な変化に違和 なくなっ 戦 2人のデビ 出 後は終 という肩書 昨年11月18 組織から離 なかった。 わったが、 演 ホッとし 伝を読ん 映 後にだ てしま 画 わ

市場が拡大するという見方もある。

》》》放送時評《《《

米韓に比べ劣る取り組み水韓に比べ劣る取り組み

の連動性が強い市場であるため、景気が上向けばい状態が続いている。テレビ広告はマクロ経済と場をけん引する地上テレビ放送の広告費は、横ばはテレビ市場の先行き不透明感である。テレビ市の海外展開が注目されている。その背景にあるのこのところ日本の放送界では、放送コンテンツ

未来像は予想しづらい。長期に見られたような右肩上がりの成長を続けるを考え合わせると今後、テレビ広告が高度経済成しかし、近年のインターネット広告の伸長など

とするのは、一つの選択でもある。 をいった社会環境の変化もある。そのことを考えといった社会環境の変化もある。そのことを考えといった社会環境の変化もある。そのことを考えを環境変化とともに少子高齢化、総人口の減少ットによる動画配信の普及といったテレビを取りった。

の主張を理解してもらうことにつながるという文てもらうことが、日本文化の理解、ひいては日本他方において、日本の放送コンテンツに接触し

に絞って、今の動きを整理しておこう。証する必要もあるが、1月号では、まず海外輸出政権は国際放送の強化を掲げており、この件を検化戦略的な意義を強調する向きもある。安倍晋三

け海外に展開しているのであろうか。それでは、日本製の放送コンテンツは、どれだ出され、プレーヤーも広がりつつあるのは確かだ。放送コンテンツの海外展開を支援する施策も打ち近年、コンテンツ政策の一環として、日本製の

日本製コンテンツ輸出額、137億円

状分析」という調査リポートを発表した。3年度の「放送コンテンツの海外展開に関する現11月末、総務省の情報通信政策研究所は201

その調査結果によると、

13年度の日本の放送コ

が分かる。

メンタリ 15 6 % 放送コンテンツ海外輸出額をジャンル別で見る アニメが62・ 1 0) ラエティー13・3%が多く、 1 9% 2%を占め、 スポ ッの 次いでド 1 ・8%がそ ドキュ - ラマの

ってもアニメが中心であることが分かる。が、放送コンテンツの海外展開においては何といれに続く。日本がアニメ大国と言われて久しい

ーロッパが3大市場である。 6%、中南米2・4%と続く。アジア、北米、ヨ占め、次いで北米が25・1%、ヨーロッパ18・輸出先としてはアジアが52・0%と5割以上を

3億円と、このところ大幅な増加を示している。 ト・リメーク権、 ネット配信権、ビデオ・DVD化権、 ている。このところの輸出額の拡大は、 13年度が62・1億円と、ほぼ横ばいの状況を示し 億円、11年度は63・6億円、 62 · 5億円、 てみると、 分析」という調査は情報通信政策研究所が この「放送コンテンツの海外展開に関する ただし、番組放送権の輸出額は10年度が62・5 毎年、 10年度の放送コンテンツ海外輸出 11年度は71・6億円、 独自に実施している。 商品化権が押し上げていること 12年度は62・1億円、 12年度10 経年変化を見 フォーマッ インター 704 年度 現状

順調に成長していくのであろうか。 では、日本の放送コンテンツの海外展開は今後、

海外輸出比率は5%たらず

高い 程度。 の規模ではあるもの H 0) 本のコンテンツ産業は米国に次ぐ世界第2位 いうなれば、 が、 \mathbb{H} 本の コンテンツ産業の特徴と言え 0 国内 .市場 その海外輸出比率は5% の依存度が非常に

収益構造はマクロ経済連動型となるのである。の中心的な担い手が放送産業であり、その中心での収益で制作費を回収する「ファーストラン・ビの収益で制作費を回収する「ファーストラン・ビの収益で制作費を回収する「ファーストラン・ビッネス」が基本。だからこそ、テレビ広告放送の中心での収益で制作費を回収する。もちろん、その理由は日本のコンテンツ産業

くことができるのだろうか。 場を意識した戦略が立てられていることが知られ も大きい米国のコンテンツ産業では、 な産業構造に、 ている。 ッドでは、 本の海外輸出は約3倍の伸び代があると言える。 ンツが制作されるわけである。 、像コンテンツの制作工場を有している。ハリウ %もある。 もちろん、米国はハリウッドという世界有数 なみにコンテンツ産業の市場規模が世界で最 海外に輸出することを前提としてコンテ 映像コンテンツの企画段階から国際市 単純に米国との比較で考えれば、 日本のコンテンツ産業を変えてい 果たしてそのよう 海外輸出率が Н 0

ないだろう。

韓国の輸出総額は日本の3位

産業の海外展開の事例を考え合わせると、日本でしかし、「韓流」と呼ばれた韓国のコンテンツ

の可能性も期待できなくはない。

官民連携の横断組織として活動を開始

している。

円。 降、 億円と、 の地上テレビ放送の12年の輸出総額は178億 る韓国製放送番組のブームをつくった。その韓国 推進し、 韓国は97年のIMF 同年の日本の地上テレビ放送の輸出 官民を挙げて韓国製コンテンツの海外輸出 韓国の約3分の1程度である。 アジア諸国を中心に、「韓流」と呼ばれ (国際通貨基金) 総額は62 危 機 낈

寄与が大きかったことが知られている。たのには、日本市場での韓国製番組ブームによるツの海外輸出が「韓流」と言われるまでに成功し韓国製ドラマがブームとなった。韓国製コンテンー日本でも「冬のソナタ」のヒットなど一時期、

た、 省との共同事業) 策に積極的で、 の構築や地域の活性化などを目的とした放送コン む周辺産業との連携による新たなビジネスモデル 送事業者との共同制作②現地語字幕の付与 にどのような制作支援を行っているのであろう 21億円の支援を実施している。 テンツを制作し、 済産業省が計170億円の予算を付け、 か。近年、政府も放送コンテンツの海外輸出支援 では、日本政府は日本製コンテンツの海外展開 13年度の総務省の補正予算では、 12年度補正予算として総務省と経 継続的に発信するモデル事業に 等について支援を行った。ま 異業種を含 ①海外放 (経産

設立。放送コンテンツの海外展開をサポートする放送コンテンツ海外展開促進機構(BEAJ)」を官民との連携では、13年8月に「一般社団法人

加えて、 ある。 ある。 を重ねるうちに先細り傾向になりがちなことだ。 外展開に目を向けさせつつあることもまた確かで は継続的でなく、 係者も少なくない。というのは、 政策支援の動きに対して一抹の不安を口にする関 た在京キー局やプロダクションの中には、 ローカル放送局やケーブルテレビなども含め、 送コンテンツの海外展開にあまり関心のなかった これらの支援策や支援組織の整備はこれまで放 しかし、これまでも海外展開に苦労してき 政権が代わると立ち消えになるケー また継続支援が行われても、 日本の政策支援 連 年 海 0

き飛ばされてしまう。際市場でのアピールし続けなければ市場からはじば、国際映像祭などに継続的にブースを出し、国は、国際映像祭などに継続的にブースを出し、国こと放送コンテンツの国際展開に関して言え

14年6月24日に閣議決定した「日本再興戦略」の改訂版では、「2018年度までに放送コンテンツの海外展の約3倍に増加させる」としていることからも明の約3倍に増加させる」としていることからも明の約3倍に増加させる」としていることからも明のが3倍に増加させる」としている。

、政策支援の継続性こそが重要となってくる。で、放送コンテンツの海外展開を掲げるのであれ昨年末の総選挙で、安倍政権の続投が決まっ

(音 好宏=上智大学教授)

読売連載記事の書籍化をめぐる争い

マスメディア関連の裁判を見る(20

、出版権差止等事件ほか) 東京地裁(平成24年(ワ)29975号)

佐藤英雄

出版契約無効の確認(B事件)を求めた。出版契約無効の確認(B事件)を求めた。 といる (名) との (日本銀行の職員に対する接待汚職事団、大蔵省、日本銀行の職員に対する接待汚職事団、大蔵省、日本銀行の職員に対する接待汚職事団、大蔵省、日本銀行の職員に対する接待汚職事団、大蔵省、日本銀行の職員に対する接待汚職事団、大蔵省、日本銀行の職員に対する接待汚職事団、大蔵省、日本銀行の職員に対する接待汚職事団、大蔵省、日本銀行の職員に対する接待汚職事団、大蔵省、日本銀行の職員に対する接待汚職事団、大蔵省、日本銀行の職員に対するとは、日本銀行の職員に対する。

を命じる判決を言い渡した。
・頒布禁止と171万円の損害賠償金の支払い
売・頒布禁止と171万円の損害賠償金の支払い
にあるなどとして被告の出版社に、同名本の発
業員である記者の職務著作であり、著作権は原告
業員の裁は平成26年9月12日、原告の記事は従

背景に読売巨人軍経営者の争い

被告は㈱七つ森書館(同文京区)。原告は㈱読売新聞東京本社(東京都千代田区)、

記者らが、同部の清武英利次長を中心に取材して8年夏ごろから当時の読売新聞東京本社の社会部新潮社から出版された読売新聞の書籍は、平成

2015.1.1

も「読売新聞社会部」である。の氏名が記載されている。著作権表示は、いずれり、その中で執筆者として清武次長ら9人の記者まとめた。単行本と文庫本には「あとがき」があ

でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 で次長との間で、やりとりを経て作成された。同 り人の執筆メンバーの1人で社会部に残っていた り人の執筆メンバーの1人で社会部に残っていた の表との間で、やりとりを経て作成された。同 契約書の表題の下に、「著作代表者C」と書かれ でいる。

記述されている。 軍の専務取締役球団代表兼ゼネラルマネジャー き」があり、 長の球団私物化の非を訴えたものであったなどと 告していたコーチ人事を ループ本社の渡辺恒雄代表取締役会長を記者会見 G M で告発して解任されたことや、 被告による復刻版には、 の職にあった平成23年11月、 そのうち6行に、 「鶴の一声」 8~にわたる「あとが 清武氏が読売巨人 その告発は既に報 読売新聞グ で覆す同会

> 清武班」である。 なお、この復刻版の著作権表示は「読売社会部

に存在しないことの確認を求めた。 権、翻案権)と著作人格権(同一性保持権、氏名権、翻案権)と著作人格権(同一性保持権、氏名権、翻案権)と著作人格権(同一性保持権、氏名

従業員が作成した法人著作と原告

する権限はなかった。すなわち、原告において 解を得ることとされていた。 社から発行する時は、事前に部長職以上の者の了 て原告を代理または代表して本件出版契約を締結 ているCは当時の社会部次長であり、 のであるから、その著作者は読売新聞社である。 人等の業務に従事する者が、 職務著作(著作権法15条1項)の定めにある ②本件出版契約において、 原告の主張は、 従業員が職務上執筆した記事等を外部の出版 原書籍 (単行本と文庫 原告の代表者とされ 職務上作成した」 本件につ 本 法 は

③被告は「あとがき」を追加した本件書籍を製 のとなっている。 ③被告は「あとがき」を追加した本件書籍の本の上、発売した。あとがきの内容は本件書籍の本の上、発売した。あとがきの内容は本件書籍の本の上、発売した。あとがきの内容は本件書籍を製

このように、被告は、著作者である原告に無断

デ

1 ア

X

告の行為は、 は原告の意思に反するものである。 で加筆し、その他 などとした。 原告の有する同 の改変を行っており、 性保持権を侵害す このような被 その内容

執筆者と出版社に権利と被

筆者 に伝え、新潮社での出版が実現した。この原書籍 取材班と同じメンバーで新たな追加取材をしてそ 行った一 原書籍の作成を発意したのは、 執筆者9名であるから原告の主張は失当である。 清武氏との間で締結された。 出版に関する契約は、 の成果をまとめ、 0 相手方は新潮社である。 これに対して被告は①原書籍の著作者は、 (当時の社会部次長の清武氏) 連の新聞記事の執筆作成とは別に、その その企画を新潮社の常務取締役 新潮社と著作代表者である 清武氏は、 本件あとがきの執 であり、 その職務上 発意

関与することは一切なかった。 清武氏と新潮社で取り決めており、 支払われた。印税額およびその配分については、 9名のうち清武氏ほか4名の主要メンバーに直接 原書籍の印税は、 新潮社から本件執筆者 読売新聞社が

から、「 別法人である新潮社の業務として出版されている 版されたものではなく、 ②原 書籍は、 職務上 作成 読売新聞社の業務の一つとして出 要件を満たさない。 読売新聞社とは無関係の

は、 書籍の ずれも本件執筆者9名の総称であるから、 読売新聞 社会部 一との著作者表 示

同社の

ハイヤー

0)

使用

同社のワープロを使用して執筆し、 D社会部長から了解を得た上、

一版され いずれ

所

執筆者9名は、

ŋ, 個性が反映された極めて創作性の高い著作物であ 執筆者9名が著者であることは明らかである。 の要件を満たさない。 法人等が自己の著作の名義の下に公表するもの_ ③仮に、 その著者表示とあとがきを総合すれば、 原書籍が原告の職務著作物であると認 被告と原告との間で本件出版 また、 同契約に基づいて被告に本 原書籍は執筆者らの 本件

渡権等) の発売等頒布は原告の有する著作権 件書籍を出版する権限が生じているから本件書籍 契約が成立しており、 められるとしても、 侵害に該当しない などと反論した。 (複製権、 譲

法人名義で公表した著作と判

ら、 されていない部分も、 新聞の連載記事の記述をベースにしており、 モ等が基となり、 社会部に所属する延べ41名の記者が平成8年夏か 述に肉付けがされたりしたものであって、 記事の記述がほぼそのまま用いられていたり、記 が本件利益供与および接待汚職事件に関する読売 属する9名が執筆した。 東京地裁の判断 1 500人以上の関係者に取材して得た取材メ 原書籍は、 執筆されたものである。 当時読売新聞: (要旨) 清武氏を含む読売新聞社の その内容は、 は、 次 社の社会部に所 いの通り 多くの部分 であ 連載 る。

その書籍の出版について当時 や出張取材も認められ、 読売新聞社 追加取材には 記事化 社内で そ 0 等の場合はあらかじめ所属部課長を経て会社 をもって他の新聞、 等を外部の出版社から発行する時の定めとして、 も上記の手続きが取られて た過去の約50 る部の部長の了解を得て出版することとされてい 了解を得ることを意味する。 局であればこれら各部長の上司 済などの部長職を指し、「会社の了解」 解を得なければならない」と規定されており、 就業規則の7条に、「従業員が読売新聞社員の名 た。著者名を 所属部課長」とは編集局内では社会、 実際の運用としては、 $\widehat{2}$ または出版する場合および講演、 原告では、 タイトルの書籍につ 「読売新聞社会部」 従業員 雑誌、 少なくとも、 が職務上 刊 行物等に寄稿通 である編集局長の いては、 一執筆し、 その 放送、 政治、 とは編集

経

写真部にも分配された。 いた。 との飲食にかかる取材懇談費も会社負担となって 出張費は会社負担となってい 印税は執筆者9名の他に、 て、 同社 他 の社会部 取 材相 ゃ

のマルCが表示されている。 して「読売新聞社会部」と表 れも「読売新聞社会部」で、 これらは、 原書籍の単行本と文庫本の著作者表 原書籍の著作者は、 著作権法15条1項の 共に読売新聞社であると 奥付には 示され、 法人等 の要件に当た 示は、 著作権表示 「著者」と が自 41 ず

り、 認めるのが相当である。 の著作の名義の下に公表するもの」

た記 (37)

出 の了

演信

2015.1.1

衝を始めた。その際、 記申し入れがあった旨を連 を取りたいと考えているなどと通知した。 清武氏の分は同氏の個人口座に振り込むという形 の話があり、 れを伝えた。 人軍の球団代表になっていた清武氏にこの申し入 プ本社の知的財産部は社会部のC次長に対し、上 ージを通じて申し入れをした。 ン・シリーズ 3 被告の担当者が平成22年12月、 被告は、 印税は従業員の分を読売本社の口座に、 それを受けてCが被告の担当者と折 同氏から「出版社と話をしたい」と 同社が企画する「ノンフィ 人間、」 著作権者は読売新聞東京本 で原書籍の復刊 絡。 Cは当時、 読売新聞グル 原告のホーム 読売巨 を企 クシ 1

売側 の契約解除申し出を無視

とを考えていたとみる余地があるとしても、その で成立したことを認めることはできない。 ら認められず、 する部門と協議をしたりという具体的な形跡は何 0) 司の了解を取ったり、 実際の運用に従って社会部長等の了解を得るこ た契約書を作成する意向を伝えた際には、 実際に直属の上司である社会部長やその他の Cは当初、 本件出版契約が原告と被告との間 被告に対 法務部等の著作権を所管 し、正式に社印 原告 を押

売等頒 よって、 術し 権 被告が本件書籍を製本して、 および翻案権) た行為は原告の有する著作権 を侵害する行為に該当 これを発 (複製

> ず、 先立ち、 過失があるといわざるを得ない。 ことが認められるから、 る代理権の有無について何らの調査確認もせず ると指摘され、 法務部長から、 部に預けた」との連絡を受けた。 に、一方的に本件書籍の発売等頒布に踏み切った たいとの申し出を受けていた。 合意解除 5 原告からCへの本件出版契約の契約締結に係 その後、 ゲラのチェックを進めるCから、 (逸失利益等300万円の支払い)をし 本件出版契約の有効性に疑義があ 仮に同契約が有効であるとしても 被告は本件書籍の発売等頒布に その点において被告には それにもかかわら さらに、 原告の 「法務

り原告が被った損害を賠償すべき責任を負うべき である、とした。 清武班に書き換えた氏名表示権)の侵害行為によ とがきによる同一性保持権と筆者名を読売社会部 作権のほか、著作者人格権(清武氏が追加したあ 従って、被告は原告が保有する複製権などの 著

従業員の著作も法人名義著作に

ば、 従業者が作成した著作物は一定の条件がそろえ 間は短くなる。 物を創作する者」は著作者とあるが、 後書き その場合、 その団体が著作者になる制度がある。 個人の著作者の死後50年間に比べれば保護期 「職務上作成する著作物の著作者」(法15条) 著作権法の定義 著作権 著作権 の保護期間は公表後50年間 の国際条約である「ベル (2 条) には、 団体などで 著作 それ ヌ

が、

で、 で、

> 以外は、 条約」にこの規定はない 職務著作の規定を持つ が、 ドイツなど少 数 0) 玉

その他の団体が著作者になる。 規則その他に別段の定めがなけ に公表するものは⑤作成の時における契約、 る著作物で④その法人等が自己の著作の名義の下 り②法人等の業務に従事する者が③職務上 新聞、 その職務著作は①法人その他使用者 通信、 社内では、 放送などは、 特派員の署名記事やコ 日常的に著作 れば 0) その 発 一作成す :物を扱 意が 勤務 法人

ラムの著作権は記者にあるとする主張もあって、 う職場である。 問題になっていた。

指摘も出ていた。 増え、従業員規定に、 好評を得た企画記事の単行本を刊行するケースが い」こともトラブルのもとになるとする法律家の 55年以降、増ページによる連載記 要件⑤の「別段の定めがな 事 0) 増 加

では、全国の報道機関で社内規定を持つようにな っている。 委員会を置く) 日本新聞協会の編集委員会 新聞、通信、放送各社の編集責任者で構 がこの別段の定めを取り上 (下部組織に著作権小 成する げ、 今

きたいと訪ねてきたドイツの放送記者に、 交わすので、 規定がないと会社とトラブルになることはない 」と聞いたところ、「入社時に著作権 筆者が現役時代、 ない」という返事だった。 H 一本の新聞の著作権事 0) 情を聴 契約を 「職務

朝日新聞社 社 友

レー 休日か」 揺れるフランス

時事通信社パリ特派員 III

崎 誠が 久なさ

引く景気低迷にはあらがえず、 曜就労をめぐる規制緩和に本腰を入れ始めた。 典型像が過去のものになるかもしれない。 るかは予断を許さない 化を懸念する労組は激しく反発、 拡大する改革の必要に迫られた形だ。 に悩む仏オランド政権が、 休日を大事にするフランス人」。 景気てこ入れのため日 休日出勤の対象を すんなり実現す ただ労働強 不人気 そんな 長

曜日買い物済まそうと長蛇の 列

勝ち取ったとされる。 本家と対立し、 とがこうした規制の狙いだ。 ることを防いでいる。 に罰金を科し、 リスト教の規律の影響も大きい。 労が制限された。 フランスでは1900年代初頭に法律で日 家族とゆっくり過ごす時間を確保するこ 度重なるデモの末に休日の権利を 当時は各地域で労働者階級が資 部の店舗が抜け駆けして営業す 日曜日を安息日と定めるキ 国民が安心して休める条件 法律では違反者 曜

どは例外とされている。 が改められ もっとも現在では国民の生活の 例えば飲食店やホテル、 小売業でも家具店や個 変化によって規 映画館

> 店も昼過ぎまでなら店を開けられる。 業を認め、 経営の小規模店舗などについては日曜日 スーパーマーケットなど一 部の食料品 の終日営

の他、 る6~7月にこの枠が利用されることが多 が義務付けられる。 業員に対しては、 長の同意を得た上で日曜営業を許可することもあ が本格化する12月や、 る。一部の例外区域を除き、 に営業することが許されており、 これ以外の小売業は年間5回の範囲内で日 部の都市圏や観光地などでは県知事や市 平日の2倍以上の賃金の支払 全国的にバーゲンが行われ 日曜日に出勤する従 クリスマス商戦 い。こ 曜 H

所から閉店を命じられた。 業を強行する店舗が出現するなど騒動は収 曜大工用品などを扱うパリ郊外のホームセンター きることも珍しくない。 としてホー して罰金を支払い、 規制の対象はしばしば明確ではなく、 しかし従業員労組に違法だと訴えられ、 自身は「家具店」 府は13年12月から、 ムセンター それ以上の収益を期待して営 の日曜営業を認め だと主張して日曜日 2012年には家具や日 それ以降も命令を無 15年夏までの暫定措 混乱 いまら 裁判 が . 営 起

が生活者の実感だ。コンビニをはじめいつでも営 要なものは日曜日の前に確保しておくことがフラ 業中の店舗が見つかる日本との違いは大きく、 日の午後にはスーパーに日用品の調達を急ぐ住民 ンスで暮らす人々の常識となっている。 機会は平日に比べて大きく制限されるという 中心街ですら大半の店舗が門を閉ざ こうした例外があるとはいえ、

Н 曜 日に

1)

買 は

の物

有名デパ ŧ 閉店

までに20分以上待たされることも珍しくない が殺到し、郊外の大型店舗ではレジにたどり着く

毎週土曜

必

じて、その場しのぎの変更が加えられてきた印 制度改正の変遷を見ると、 業界団体 の要望に応 象



(2014年11月30日、筆者撮影)



期 るなどの準備を重ねてきた。 革を実現すべく、 目と位置 抱えていると言え、 限が切れる15年夏は抜本改革に向けた一つの節 業者と利用者の双方にとってさまざまな問題を 関係者は 否めず、 付けられた。 フランスの日曜 「とにかく複雑だ」と口をそろえる。 有識者の審議会に研究を依頼す ホームセンターの例外規定の 政府は15年前半の議会で改 に就労の 規則につい て流

1 通 ン」と認め、 |りなどの周辺区域を政府の判断で「国際観光ゾ リのオペラ座付近のデパート街やシャンゼリゼ 予定の法案は、 メディアの報道によれば、 地域内の店 ①世界中の観光客でにぎわう 舗 は日 政府が近く議会に 一曜の終日営業を



クリスマスを前にイルミネーションで彩られた夜のシャン ゼリゼ通り(2014年12月6日、筆者撮影)

月に当時のエロー を軸に調整が進んでいる。 認める②これ以外の地域については現行年 ほぼ踏襲した。 日曜営業の枠を12回に拡大する 内閣に提出した報告書の内容を 有識者委員会が の二つの 7 13 年 12 柱 間 5 口

0

物で、 経済相。 い」と繰り返し、国民の理解を求めている。 のある人々は既に30%に上る。怖がる必要はな ィアに出演するごとに れた前任者に代わって14年8月に就任した。 済顧問を務め、 担当閣僚は弱冠37歳 オランド政権の緊縮財政に反対して更迭さ 金融機関勤務を経てオランド大統領の経 「大統領の右腕」とも称される人 のエ 「日曜労働に従事したこと ーマニュ エ ル・ マクロ メデ

なデパートが日曜日に営業していない。このた る人々にとっては不便だ。 よっては買い物の機会を逸してしまう可能性があ め、せっかくパリを訪れた観光客がタイミングに ー・ラファイエットやプランタンといった代表的 とだが、パリではオペラ座近くにあるギャルリ 世界トップクラスの観光都市としては意外なこ とりわけ欧州の近隣国から週末を利用 心て来

寄稿し、 から掛け ギョーム もない」と見直しの必要性を強調。 曜日に来て閉店に気付いた観光客は翌週まで待 てくれないし、失望した後に再び戻ってくること 観光行政を所管するローラン・ファビウス外相 14年4月に開かれた業界団体との会合で「日 離 H ケル代表は同9月、 れている。 曜就労規制について「時代錯誤で現実 働きたい国民にそれを認め 経済紙レゼコーへ 起業家団体の

> ない制 改革を求める機運は政 度は 他 国に例がない」と撤廃を主張した。 府内外で高まって 11 る。

観光客増加 期待

態も災いし、支持率は史上最低水準となる 録を更新。14年1月に仏女優ジュリー・ をたどり、14年11月には346万人と過去最悪記ない。失業者数は政権発足から一貫して増加傾向 下の低空飛行が続く。 ん(42)との不倫愛が発覚するなど私生活での 期待とは裏腹に経済政策は全く成果が上がって 月までの任期の半分を終えたばかりだ 年に就任 したオランド大統 領 60 が、 ガ は バイエさ 20 玉 17 % 以 年 5 民 失 13

これまで経済分野で目立った実績を残せなかっ になり得る可能性を秘めて 成否に自らの命運を託す。 の続投の条件とする背水の陣を敷き、 は14年11月のテレビで、 政権にとって、反転攻勢に向けた目玉政策 次期大統領選への出馬すら危ぶまれる中、 国民は私を許さない」と言明。 社会党内に「反オランド」 失業率の改善がなけ 日曜就労規制の いる。 0) 動きがくす 景気回復を自 成長 大統 戦 Š 0) 和 略 n たはのら ば

クで店番をしていたレ 聞いてみると、 光で訪れた人々でにぎわってい 夕方。オペラ座付近のデパート ギャルリー・ラファイエットの向かいのキオス 土産物屋の店主らに「マクロン法案」 クリスマス商戦が始まった12月上 様に好意的な声が返ってきた。 バ ・出身の た。 - 街は、 デパー アブドゥ 旬 買い 0) あ 0) 感想を 1 物 る ·付近 P 日 観 0

だ」と話す。

売り上げ増が見込めるとの試算があるほか、 ながり、 欲は高い。対象区域の店舗は売り上げの増加につ で国際観光ゾーン構想について「観光客の消費意 ファイエットについては日曜営業を通じて7%の もしれない」と指摘する。 実際に生み出される雇用は数千人規模に達するか ヌ・ブランシャメ研究員は日刊紙「20ミニッツ」 人の追 をにらんでパートタイムや有期契約の形で5 経済調査機関コレクスコ 経済にプラスの効果をもたらすだろう。 加 雇用を検討中との報道もある。 実際、ギャルリー・ラ 1 ドのアマンディ 法改 0

ガ働者は「搾取許すな!

に反 を許してはならない」と書かれたプラカードを掲 従業員たちだ。 ませる一方で、 ながらデパ | 約1000人は14年11月、 対するデモ行進を実施。 済界がビジネスチャンスの拡大に期 1 主要労組に所属するデパート店員 休日の減少を警戒するのが店舗 1 街やパリ市役所前を練り歩き パリで日曜就労拡大 「経営者による搾取 待を膨 0 5

を守らなければならない」と主張している。忘れて、自分や家族の生活を最優先にできる時間労働者同盟(CFTC)は「生産や消費のことをた。中でも最も強硬な反対派とされるキリスト教いのは賃金だけ。労働時間は増やすな!」と訴えい日曜就労も夜間就労も認めない! 増やしてい

とのデータを挙げた上で「日曜に働けばその 託児所などの費用が必要になり、 8割が女性で、そのうち半数が子育て中の母親だ らない」と反論。また小売業で働く従業員の7~ 日曜日に先送りされるだけで、 いて「本来、平日に行われるはずだった買い物が 案などによれば、 承認した。日刊紙ロピニオンが事前に入手した草 員会は12月4日に、政府の日曜就労拡大案に疑問 る」と指摘している。 を呈する報告書を左派の社会党などの賛成多数で パリ市でも反対論が優勢だ。同市議会の調査委 推進派が強調する経済効果につ 消費の総量は変わ 家計を圧迫す 分、

事態となっている。 事態となっている。 本ランド政権と同じ社会党に属するパリのイダ を放っている。 は、政府案では規制緩和の対象区域の選 がユールで改革を進める。市長の権限が政府に使 がユールで改革を進める。市長の権限が政府に使 を済相を批判。国と市の身内同士で火花を散らす を済相を批判。国と市の身内同士で火花を散らす を済相を批判。国と市の身内同士で火花を散らす を活相を批判。国と市の身内同士で火花を散らす を活相を批判。国と市の身内同士で火花を散らす を活相を批判。国と市の身内同士で火花を散らす を活相を批判。国と市の身内同士で火花を散らす を設し、政府案では規制緩和の対象区域の選 を対し、政府案では規制緩和の対象区域の選 を対し、政府案では規制緩和の対象区域の選

小規模店は冷静

.論を二分するかのような議論が巻き起こる

玉

中 曜の終日営業を始めれば、こうした小規模事業者 さん(42)を日曜の昼下がりに訪ねた。 の収益機会が奪われると主張している。 重宝する。反対派は規制緩和が進んで大型店が日 められており、うっかり食材を買い忘れたときに 食料品店を営むイタリア人のサント・ビアッジ トピケ・グルネル駅付近で18年にわたって小さな いるのだろうか。筆者の自宅近く、 人経営のため例外的に日曜の夜間までの営業が認 既に日曜就労に携わっている人々はどう見て パ リ 15 ここは 区 0) モ

される。それをきっかけに平日にも来てく ても「大した違いはない」と断言した。 さんは、付近のスーパーが日曜の終日営業を始 うになった人がたくさんいる」と語るビアッジ と遠くからも困ったお客さんがやってきて、 冷静な答えが帰ってきた。「日曜日に開けている いるし、あんまり心配はしてないね」と意外にも 大の議論は脅威では」と尋ねると、「常連さん 開店したばかり。それだけに「昨今の日曜就労拡 店のすぐ隣には、数週間前に中規模スー 、れるよ パ 感謝] 彐 が

14年12月にレゼコーが掲載した世論調査によるな、マクロン経済相が準備中の法案についてはと、マクロン経済相が準備中の法案についてはと、マクロン経済相が準備中の法案についてはと、マクロン経済相が準備中の法案についてはと、マクロン経済相が準備中の法案については

ザー

ページをめくると、いきなり「中国

ユ

が発信、心から学びたい国ニッポン」とジをめくると、いきなり「中国ネットユ

Н

本に留学経験のあ



中国 変する国 が

の1~11月末までの統計で、国外に渡航した中の1~11月末までの統計で、国外に渡航した中国人が「1億人を突破!」(12月6日、朝日新数になり、観光旅行が富裕層から中間層へと拡大していることが分かる。その多くがアジア地大していることが分かる。その多くがアジア地域への旅行者で、日本への旅行者は10年間では、日本への旅行者は10年間では、日本への旅行者は10年間では、日本への旅行者は10年間では、10年に対象が、10年間では、10年間には、10年間では

ポン」を演出しているような風潮も気になる。国人をスタジオに並べたりと、ことさら「ニッテレビで訪日理由を旅行者に聞いたり在住外 元は中国人ネットユーザーのブログや書き込み本が好き」と締めくくられている。本文のネタ立てされ、最後の第5章は「やっぱり中国は日「親切心」「環境」「国際性」とテーマごとに章 ている。ホントかなと「?」が脳裏をよぎる。んなに尊敬されている――」と惹句が手招きし ニッポン』である。赤い帯では「ニッポンはこそこで手に取ってみたのが『中国が愛する国、 であり、 **『人が愛する日本人の素養』で、それに続けて全体が5章構成になっており、第1章は「中** そのほとんどが旅行者である。

> る。何だかクサイなあ。 人よ、あなたに学びます」宣言で結ばれていなどに日本人の暮らしの質の高さを感じ「日本 い」と声を掛ける駅員、る30代男性。深夜の駅で の駅で乗客に 地下鉄車中の静けさ、

には、 には、 に送って地元のおばさんに送ってもらったエー、 と思いきや、トロント在住の中国人観光客が夜と思いきや、トロント在住の中国人観光客が夜と思いきや、トロント在住の中国人観光客が夜と思いきや、「世界の手本だ! 日本サポータなどが並び、「世界の手本だ! 日本サポーター、 して、 して、 に送って地元のおばさんに送ってもらったエー、 して、 に送って地元のおばさんに送ってもらったエーター、 して、 して、 に送って地元のおばさんに送ってもらったエーター、 と思いきや、トロント在住の中国人観光客がを と思いきや、「世界の手本だ! 日本サポーター、 はいまで、「世界の手本だ! 日本サポーター、 はいまで、「世界の手本だ! 日本サポーター、 はいまで、「多くの中国人は日本がかつてした。」 に述って地元のおばさんに送ってもらったエートでは、 に述って地元のおばさんに送ってもらったエートでは、 に対して、 にが、 に対して、 にがし、 にがし、 にがして、 「日本の良くないところ」などの項目はあるが、スレッドや「微博」でのアンケートなどにはこの本に「反目」は出てこない。「百度」のングルが異なる書き込みも収録されている。 の多くは、日本に住んでいる者にとっては、ごード。そして、彼らが感動、感心していること く当たり前のことだ。 全体としては圧倒的に「日本礼賛」のオンパレ た謝罪と巨額の援助を知らない」など、少しア

や旅行で日本に出掛けることのできる80年代生が、中心は30代のようだ。小金持ち層で、仕事書き込んだ世代は20代から50代までにわたる

ない。「有言不実行世代」と言える。日本のよ決してゴミを拾ったり、他人に優しくしたりし帰国の機上までで終わる。自分の町に戻ると、 うになるには、 だ」「人が優しい」と語るのだが、その多くは、 この30代の多くは日本に来ると「街がきればれの「80後」(バーリンホウ)世代である。 自ら日本の良いところを持ち帰

ものである。本書はネット上の書き込みを、中国ニュースの専門サイト「レコードチャイナ」の編集部がの専門サイト「レコードチャイナ」の編集部がの専門サイトにの書き込みを、中国ニュースって実践することが近道だと思う。

ひと言でいえば「手軽に読める中国情報のエッセンス」だ。しかし全体的に軽い。それが本書の良いところであり、悪いところでもある。 はいものはでするが、本格北京料理の味わいは無いものねだりだ。 世つかくの情報ダイジェストだから、もう少無いものねだりだ。 に注で解説しているが、例えば章ごとに所々に注で解説しているが、本格北京料理の味わいは無いものねだりだ。

である。どこからでも読めるし、 代を顧客にするコンビニエンスストアそのものたちの「今」を知るには良い。この本はその世 深読みさせる方策はいろいろあったと思われる。みへの反対意見やフォローを対比させたり、と 気に入ったら共感する。 「まとめ」の解説やコメントを付けたり、書き込 大きな期待をせずに気軽に読んで中国の若者 便利な本である。 気軽に眺

網虫=中 ・国メディアウオッチャー さを欠くか、

最近の中

国に関する報道は感情に走って冷

隣国との関係は大切にという原則

国報道に欠ける面

あ

者

ത

声

をすり

、抜けて中国の実情、

そして真実に到

るためには粘り

強い探求の作業が必要だろう。

み出

毛里さんがぼやく通

ŋ

中

国

政治は不透明で

誌

成は弱いが、

その分、

素直な肉声の良さがにじ

講演というのは論理構

浮かび出て好感できた。

るかのどちらかではないかと思っている。その

毛里和子早大名誉教授の講演記録

(前号掲

は研究者の率直な悩みと生真面目な姿勢が

論にこだわって「実事求是」の意欲に欠けてい

編集後記

奇妙な総選挙が終わりました。 「この道しかない」めぐる言葉の

カ

挙制度を求め体を張って闘う香港の若者た 66 ちょっと気恥ずかしい思いです。 %と戦後最低を記録し、 「景気回復、 民主的な選 この道 投票率が

出したビラは か ない」と叫 自民党の安倍晋三総裁は び続けました。 全くの迫力不足。 「本当に 『この道しかない』 それに対し民主党が 憲法問題や安保政 のでし

> 相にしてやられたと言えるでしょう 策など本心を隠し、 アベノミクスに絞った安倍首

の決めずり、、長雄志候補を応援演説し、映画『ニシストランの治療を行った。一人のは、大さんが沖縄県知事選で普天間基地移設反対の治療なさんが沖縄県知事選で普天間基地移設反対の治療なさんが沖縄県知事選で普天間基地移設反対の決めずり、 残っとるがよ」とやって、 の決めぜりふから 共産党の志位和夫委員長が「アベ 「仲井真さん、 大歓声に包まれたそう 弾はまだ一発、 ノミクス、

って証拠付けたのだから、 聞北京支局長がかつて翻訳している。 悲惨な事実究明に乗り出した。その成果である 門事件を契機に文革前後の毛沢東政治が及ぼした 『墓碑』 た本として『中国当代社会階層分析』 い文革における大量死を実地取材と資料発掘によ ストとしての出世の階段を登った人物だが、 た。この人は新華社高級記者という、 毛里さんが中国のすさまじい格差社会を 著者の楊継縄氏を元新華社記者として紹介し の要約版は元共同通信の伊藤正 すごい。 タブーに近 ジャーナリ を取り上 完産経新 証明 天安 ĺ

誌の杜導正社長が高齢引退し、 を閉鎖されるなどの嫌がらせを受けた。 代指導部にとっては煙たい存在で、 な記事、 出された党内改革派の数少ない牙城として、 党総書記 楊継縄氏が副社長の肩書で所属していた歴史雑 「炎黄春秋」は天安門事件以後、 文献を発表し続けてきた。 の息子、 徳平氏を指名し 後継者に胡 したが、 ウェブサイト それだけに歴 権力から締め 最近、 どうや 耀邦 貴重 同 元

ってしまいがちだ。それはもちろん専制支配体制

よる恣意的な情報統制に罪があるのだが、

統 達

も論者の主観が交じり、

初めに結論ありきにな

できる情報が少ない。

その結果、

どうして

ですが、 大成功の 何事も最後は 「アジアの平和」 「言葉の力」 シンポジウム でしょ

半でした。 分俊英氏の連載 ないものですが、 の種の国際シンポジウムはなかなか話がかみ合 割」は手前みそになりますが、 シンポジウム「アジアの平 今回から2~にします。 3月発行の書籍で全容を示します。 日記で読む昭 知的な興奮で満たされた3時間 和とメディアの 大成功でした。 和史」 は好評につ 保田 ح 玉 わ 役

きた」と述べた。これで、 沢東主義の教えに従って、(日本の) 京・人民大会堂で周恩来首相は 変わったと指摘しているが、きちんと取り上げ と向かい合っていないのではなかろうか。 えるべきだろう。 日本人は 行動であり、 相の靖国神社参拝はこの周発言を無視する政治 ほど安堵したことか。歴史を忘れた安倍晋三首 国主義分子と広範な日本人民を厳格に区別して 日中国交回復成った1972年9月25日、 ておくべきは周恩来の戦争責任二 は、こうした中国体制内での報道弾圧にきち 毛里さんは日中関係の潮目が2012年 「二分論 中国 [人が許 に立ち戻って日 容できるはずがな 当時の日本人はどれ 「本の)少数の軍 (「中国人民は毛 年9月25日、北 一分論だろう。 中関係を考 から

東 京都町 田 市 水藤 眞 樹 太77 \parallel 共 同 通 信社 運は風前の灯になっている。

日

本の 61

メデ 同誌の

イ

P 命

ら党中央から横やりが入ったらし

調査会だより

○新政権の課題で9日に講演会

新聞通信調査会は2015年1月9日(金)午後1時半~3時に、日本プレスセンター1階にある当会の会議室で1月定例講演会を開催します。講師は時事通信社政治部長の阿部正人氏、演題は「総選挙後の新政権の課題と展望」です。

なお講演会は通常、日本プレスセンター9階で行っていますが、今回はいつもと異なるのでご注意ください。また昨年11月の講演会で、次回開催日を1月7日(水)とお知らせしましたが、都合により1月9日に日程を変更しました。入場は無料です。

◎「マイブック」欄への投稿歓迎です

「調査会だより」のページに「マイブック」 欄を設けています。執筆者がご自分で本を宣 伝したい場合などにご利用ください。本の読 みどころ、キャッチフレーズなどを書いてく ださい。本の表紙写真と同時に掲載します。 原稿の字数は本のタイトル、著者名、出版社、 本の価格を含め270字以内でお願いします。 毎月15日を翌月号の原稿締め切りとします。

訂正 昨年12月号の39章 〈読者の声〉「うわさは書き飛ばして良いのか?」の中段、末尾から4行目「記者ハンドブック」は『記者読本~ニュースのうらおもて』の誤りでした。

定価150円 1年分1,500円(送料とも)

発行所 公益財団法人 **新聞通信調査会** 〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2 - 2 - 1 日本プレスセンタービル 1 階 ☎03-3593-1081 (代) FAX 03-3593-1282 E-mali: chosakai@helen.ocn.ne.jp

- いずれかの方法で購読代金を前払いしてください
- ◇郵便振替口座 00120-4-73467
- (通信欄に購読開始月も記入してください)
- ◇ゆうちょ銀行 ○一九 店 当座 0073467 (振り込む際、必ず上記アドレスにお名前、郵便番号、住所、電話番号、購読開始月を連絡ください)

印刷所 株式会社 太平印刷社 ISSN 2187-2961 ©新聞通信調査会2015

◎写真展「2020東京五輪へ」開催

新聞通信調査会は東京都世田谷区にある玉川高島屋S・C西館1階のアレーナホールで写真展「2020東京五輪へ」を開催します。期間は2月15日(日)から2月23日(月)までです。この写真展は2014年9月に東京国際フォーラム・ガラス棟ロビーで開催したのに続いて開催するもので、入場は無料です。

展示するのは1896年のアテネ五輪から昨年 のソチ冬季五輪までの写真、70枚です。



9月に東京国際フォーラムで開催した写真展

〉〉〉通信社ライブラリーだより〈〈〈

《購入書籍》

●『日本人が知らない「新聞」の真実』(宇田川 敬介著、祥伝社、780円)●『ジュリアン・アサ ンジ自伝~ウィキリークス創設者の告白』(ジ ュリアン・アサンジ著、片桐晶訳、学研パブリ ッシング、1,800円)●『日本の現場~2012地方 紙で読む』(花田達朗編、高田昌幸編、清水真 編、旬報社、2.500円) ●『共謀者たち~政治家 と新聞記者を繋ぐ暗黒回廊』(河野太郎著、牧 野洋著、講談社、1,500円) ●『新聞の力 新聞 の読み方で世界が見える』(橋本五郎著、労働 調査会、1,500円) ●『デジタルメディアと日本 社会』(大石裕編、学文社、2,100円)●『新 聞・テレビは「データ」でウソをつく~政府と メディアのデータ・トリックを見破る方法』 (武田邦彦著、日本文芸社、1,300円) ●『テレ ビはなぜおかしくなったのか』〈原発・慰安 婦・生活保護・尖閣問題〉報道をめぐって(金 平茂紀著、永田浩三著、水島宏明著、五十嵐仁 著、高文研、1,600円)